brank **/** 鳃 **/  
　-** 選定理由**: 「鰓」の簡体字で、魚のエラを示す標準的な表記。  
　-** 学習コスト**: やや画数は多めだが、他にこれほど適切な単字がないため採用。**

* skurĝ / 鞭 /  
  　- 選定理由: 「むち」を表す代表的な1文字。中国語でも“鞭”は「鞭子」を含め広く「むち」を指す。  
  　- 学習コスト: 画数は多めだが、単独で意味がはっきり通じるため妥当。
* spad / 剑 /  
  　- 選定理由: 細身の剣(レイピア等)を含め、広く「剣」を表す簡体字。  
  　- 学習コスト: 「刀」よりは画数が多いものの、中国語で「剣」を表す最も標準的な字。
* kartoĉ / 弹 /  
  　- 選定理由: 「弾薬」「弾丸」などを表す語根として広く使われる字。カートリッジ(薬包)のイメージに近い。  
  　- 学習コスト: 単独字としては比較的頻出。「弾(弹)」を弾丸や弾薬全般に流用可能。
* kiras / 甲 /  
  　- 選定理由: 甲冑の「甲」から転じて「装甲」「アーマー」を連想しやすい。  
  　- 学習コスト: 画数少なめで、日本語圏・中国語圏とも認識しやすい。
* ŝild / 盾 /  
  　- 選定理由: 「盾」を意味する最も直接的な簡体字。  
  　- 学習コスト: 9画だが単独字としてはポピュラー。
* kron / 冠 /  
  　- 選定理由: 王冠や冠一般を示す代表的な漢字。  
  　- 学習コスト: 1文字で「冠」の意味が明確。
* tiar / 冠 /  
  　- 選定理由: ペルシャ王冠やティアラも広義の「冠」として同字で再利用。  
  　- 学習コスト: 既に「kron」にも使った字を再利用することで新規漢字を増やさない。
* egid / 盾 /  
  　- 選定理由: アテナの神盾「アイギス」も「盾」の一種として同字で再利用。  
  　- 学習コスト: 既出「盾」を再利用し、新規字を増やさない。
* amulet / 符 /  
  　- 選定理由: 中国語では道教由来などで「護身符」「符籙」の「符」が護符・お守りを連想しやすい。  
  　- 学習コスト: 単独字で「符」を採用し、護符全般として使える。
* talisman / 符 /  
  　- 選定理由: 「amulet」とほぼ同義なので、同じ「符」を再利用。  
  　- 学習コスト: 同字利用により学習負荷を増やさない。
* rapir / 剑 /  
  　- 選定理由: 細身の長剣(レイピア)も「剣」で十分表現可能。  
  　- 学習コスト: 既出「剑」を流用し、字数を抑える。
* epolet / 肩章 /  
  　- 選定理由: 中国語では肩の階級章・飾りを「肩章」と呼ぶのが一般的。  
  　- 学習コスト: 2文字だが「肩」「章」はいずれも比較的基本的な字。
* bisturi / 手术刀 /  
  　- 選定理由: 医療用メス(柳葉刀やランセット)に相当する標準的な中国語は「手术刀」。  
  　- 学習コスト: 3文字だが「手」「术」「刀」はどれも使用頻度が高い。
* ponard / 匕首 /  
  　- 選定理由: 両刃の短剣(ポニャード)やダガーを指す代表的な中国語が「匕首」。  
  　- 学習コスト: 2文字ながら常用語であり、短剣を示す最適表現。
* kling / 刃 /  
  　- 選定理由: 「刃身」「刃口」に対応する単純かつ直接的な字。  
  　- 学習コスト: 画数が非常に少なく、刀剣の「刃」を表すのに最適。
* glav / 刀 /  
  　- 選定理由: 「刀剣」のうち、とくに「刀」に対応する1文字。  
  　- 学習コスト: 2画と非常に少なく、中国語で「刀」は広く「刃物」を指す。
* nadl / 针 /  
  　- 選定理由: 針(注射針・レコード針等)を表す簡体字「针」が最も直接的。  
  　- 学習コスト: 画数はそこまで多くなく、針全般に適用可能。
* alen / 锥 /  
  　- 選定理由: 「錐(きり)＝awl」を意味する代表的な簡体字。  
  　- 学習コスト: 若干画数多めだが、単独で「きり(錐)」を示す標準的な字。
* ung / 甲 /  
  　- 選定理由: 「つめ(爪)」「(指)甲」を表す用法もあり、ここでは再度「甲」を流用。  
  　- 学習コスト: 既に「kiras」で使った字と同じだが、上付きなどで区別すれば新字を増やさずに済む。
* najl / 钉 /  
  　- 選定理由: 金属製の「くぎ」は中国語で「钉」が最も単純かつ広く使われる。  
  　- 学習コスト: 「釘」を示す簡体字で、画数も比較的少ない。
* pingl / 针 /  
  　- 選定理由: ピンも針の一種として「针」を再利用(安全ピン、大頭針など)。  
  　- 学習コスト: 既出字を使うことで新規学習を抑制。
* ŝraŭb / 螺丝 /  
  　- 選定理由: 中国語で「ネジ」を表す一般的な呼称が「螺丝」。  
  　- 学習コスト: 2文字だが実用度は高い。単字では表しにくいため妥協採用。
* kejl / 木钉 /  
  　- 選定理由: 木製の「釘・くさび」のイメージに近い語として「木钉」が分かりやすい。  
  　- 学習コスト: 「木」と既出の「钉」を組み合わせた2文字なので比較的覚えやすい。
* martel / 锤 /  
  　- 選定理由: ハンマー(金槌)を示す簡体字の代表格。「锤子」の略用。  
  　- 学習コスト: 新規字だが、1文字で「槌」「ハンマー」の意味が通じる。

ĉan **/** 扳机 **/ 銃の“撃鉄”・“引き金”をまとめて扱う語として中国語で一般的 / 単字では表しづらいため2文字熟語を採用。「扳(手+反)」「机(木+几)」はいずれも比較的よく使われる部品。**

1. bajonet / 刺刀 / 「銃剣」の標準的な中国語 / 「刺」「刀」はいずれも画数少なめで、日本語話者も意味を推測しやすい。
2. kugl / 子弹 / 「弾丸」の中国語表現として最も一般的 / 「子」は学習済みの人も多く、「弹」は「弾」の簡体字。どちらも頻出度が高く、学習コストは比較的低い。
3. lanc / 枪 / 「槍」の簡体字 / 単字で「槍」の意味をもつ最も一般的な形。「枪」は日本語の「銃(じゅう)」とは字形が似ており、連想もしやすい。
4. arĉ / 弓 / ヴァイオリンの弓も含め“弓”状の道具のイメージが分かりやすい / 「弓」は画数3、日中双方で意味をとらえやすく学習コストが低い。
5. sag / 矢 / 中国語では通常「箭」だが、画数が多いため「矢」を採用 / 「矢」は古典的ながら「arrow」を連想可能。画数が少なく、日本人にとっても馴染みが深い。
6. arbalest / 弩 / クロスボウを指す際の最も代表的な1文字 / 画数5でそれほど多くなく、中国語で「クロスボウ」を意味する常用字。
7. fork / 叉 / フォークを指す際、中国語で「叉子」となるが1文字なら「叉」 / 画数3と非常に少ない。日本語話者にも「交叉(交差)」などから「叉」の形は比較的見慣れた部品。
8. pugn / 拳 / こぶし＝拳(拳頭)のイメージ / 漢字1文字で「こぶし」を表せる最も直接的な字。やや画数は多い(10画)が汎用度が高い。
9. vip / 鞭 / 「鞭子」の略で、鞭の意味をもつ標準単語 / 画数はやや多い(18画)が、日中共通で「むち」を直感しやすい。
10. kegl / 柱 / 九柱戯などの“ピン”を直立する“柱”として比喩的に表現 / 中国語における“ボウリングのピン”の1文字表現は定着していないため、「柱(はしら)」を流用。9画で比較的わかりやすい。
11. palis / 杭 / 「杭(くい)」のイメージ / 簡体字圏では「桩(樁)」が一般的だが、画数を抑えるため「杭」を選択。日本語での「杭」と同形で、連想しやすい利点がある。
12. timon / 杆 / 車両のかじ棒・シャフトを“杆(竿)”で表現 / 中国語では「杆」は竿・ポールなど汎用の棒状物に広く使え、7画とシンプル。
13. baston / 棒 / 棒状の道具(杖・バット・こん棒など)の代表的1字 / 学習者にも馴染みがあり、用途も広い。やや12画だが、よく使われる字。
14. stang / 棒 / 「baston」とほぼ同義なので使い回し / 同じ意味領域の“棒”を再利用し、学習コスト(新字導入)を削減。
15. kapon / 阉鸡 / 去勢オンドリ＝「阉(去勢)＋鸡(鶏)」が最も端的 / 単字は存在せず2文字熟語を採用。やや特殊語だが「鸡」は他でも使い回せる可能性がある。
16. pedel / 吏 / 小役人＝“吏(官吏)”を簡略用 / 厳密には「小吏」が正確だが、画数を減らすため単字「吏」。古風だが“小役人”のニュアンスに近い。
17. bub / 小鬼 / いたずらっ子＝“小さい悪ガキ”のイメージ / 「顽童」より画数が少なく、“いたずらっ子”感が強い。「小」「鬼」ともに初級学習者向きの常用字。
18. dand / 帅男 / “伊達男”＝「帅(カッコいい)＋男(男)」で捉えやすい / 正式には「花花公子」があるが4文字かつ画数多めのため、2文字の簡易表現を提案。
19. rekt/angul## / 矩形 / 直角長方形(=矩形, rectangle) / 中国語で数学的に「矩形」が最も簡潔。日本語でも「矩(かね)」「矩形」は通じるため学習コスト低。
20. romb / 菱形 / ひし形＝「菱形」が標準 / 単字はなく、2文字熟語での表記が一般的。日中ともに“菱”+“形”で「菱形」。
21. lozanĝ / 菱形 / 同じく「ロザンジュ＝ひし形」なので「菱形」を再利用 / 同じ図形なので1つの表記に統一し、余計な新字を増やさない。
22. oval / 卵形 / 「卵形線」→中国語では「椭圆」が一般的だが画数を抑えて「卵形」 / 「卵」は日中ともに“タマゴ”を連想でき、「形」も常用字。
23. konus / 圆锥 / 円錐＝中国数学用語で一般的 / 「圆(円の簡体)」＋「锥(錐の簡体)」はセットで慣用。「锥」単独だと単なる“錐・きり”の意味になるので2文字熟語が明確。
24. kvadrat / 正方形 / 正方形の中国語標準 / 「方形」でもよいが、厳密に「正方形」とすることで意味を誤解されにくい。形(形)は既出。

kub **/ 立方 /  
　理由：数学用語として「立方」は「cube/cubic」を表すのに広く使われる。日本語でも「立方体」といえば意味が連想しやすい。  
　学習コスト：既出の「立」「方」は他の語根にも転用しやすい常用字で、画数も比較的少ない。**

1. tri/angul## / 三角形 /  
   　理由：「三角形」は日中双方で通用する形名。  
   　学習コスト：「三」「角」「形」はいずれも基本的な漢字であり、ほかの図形(四角形、多角形など)にも応用可能。
2. trapez / 梯形 /  
   　理由：簡体字中国語で「台形」に相当する標準的な図形名は「梯形」(“はしご形”の意)。  
   　学習コスト：「梯」はやや画数が多めだが、図形名として標準的。既出の「形」を再利用。
3. parabol / 抛物线 /  
   　理由：中国語で放物線は通常「抛物线」と表記する。日本語の「放物線」とは字が異なるが、意味は同じ。  
   　学習コスト：「抛」は日本人にはやや馴染みが薄いが、画数は7画と極端に多くはない。「物」「线」は他でも使う可能性あり。
4. paralelogram / 平行四边形 /  
   　理由：標準的な中国語表現。  
   　学習コスト：新出の「平」「行」「四」「边」「形」を含むが、いずれも頻用字であり他の用例（平行線、四角形、多边形 など）に派生しやすい。
5. paralel / 平行线 /  
   　理由：「parallel line」は中国語で「平行线」と表す。  
   　学習コスト：上記(5)で用いた「平」「行」「线」の再利用。
6. diagonal / 对角线 /  
   　理由：中国語で対角線は「对角线」。  
   　学習コスト：既出の「对」「角」「线」で構成され学習コストを抑えられる。
7. kalkul / 计算 /  
   　理由：中国語で「計算する」は「计算」。動詞・名詞どちらの用法にも対応可。  
   　学習コスト：「计」(4画)・「算」(14画)はいずれも比較的よく使われる常用字。
8. aritmetik / 算术 /  
   　理由：初等的な計算・算数を指す際、中国語では「算术」が一般的。  
   　学習コスト：既出の「算」を活用。「术」(5画)も「美术」「技术」などで頻出。
9. subtrah / 减 /  
   　理由：「引き算する」を表す動詞としては「减」(～を減らす、減算する)が端的。  
   　学習コスト：1文字で表せ、画数(7画)も比較的少なめ。
10. adici / 加 /  
    　理由：足し算は「加」。簡潔で日常的にも使われる文字(例: 加法、追加)。  
    　学習コスト：5画と少なく、覚えやすい。
11. multiplik / 乘 /  
    　理由：掛け算(乗ずる)は中国語で「乘」または「乘法」。ここでは1文字に簡略化。  
    　学習コスト：10画だが「乘法」「乘客」など常用される字。
12. simetri / 对称 /  
    　理由：「対称」の中国語表記は「对称」。  
    　学習コスト：既出の「对」と新出の「称」(10画)のみ。「称」は名称、称呼などにも出現。
13. logaritm / 对数 /  
    　理由：数学用語「対数」は中国語で「对数」。  
    　学習コスト：既出の「对」「数」を再利用できる。
14. trigonometri / 三角函数 /  
    　理由：中国語では「三角函数」(trigonometric functions)が三角法の中心概念として定着。  
    　学習コスト：「三角」は既出、「函」(8画)のみ追加。「函数」の「数」(13画)は既出の「数」。
15. matematik / 数学 /  
    　理由：最も一般的な中国語表現。  
    　学習コスト：「数」は既出。「学」(8画)も教育用語で頻出。
16. algebr / 代数 /  
    　理由：代数学は中国語で「代数」。  
    　学習コスト：「代」(5画)・「数」(13画)とも常用字。
17. teorem / 定理 /  
    　理由：数学の「定理」は中国語でも「定理」。  
    　学習コスト：「定」(8画)・「理」(11画)はいずれも頻用。
18. aksiom / 公理 /  
    　理由：「公理」は公の理(普遍の原理)を指す数学用語。  
    　学習コスト：「公」(4画)・「理」(11画)ともに頻用。
19. ekvaci / 方程 /  
    　理由：方程式は中国語で「方程式」だが、簡潔に「方程」としても通じる。  
    　学習コスト：既出の「方」「程」(12画)は「过程」「进程」などでも使う。
20. obl / 倍 /  
    　理由：「～倍」「倍数」を表すのに最適な単字。  
    　学習コスト：10画だが、日常単語でも使われるため汎用性は高い。
21. poligon / 多边形 /  
    　理由：多角形は中国語で「多边形」が一般的。  
    　学習コスト：既出の「多」「边」「形」を再利用。
22. plural / 复数 /  
    　理由：文法上の「複数形」は中国語で「复数」と表現するのが通例(※数学の複素数と同字)。  
    　学習コスト：「复」(9画)は「重复」「复习」などにも現れる常用字。「数」は既出。
23. plur / 多 /  
    　理由：語根「plur」は「多数」「複数」「多い」を示すため、中国語の「多」が直感的。  
    　学習コスト：6画と少なく、日常語彙。「多边形」などでも再利用可能。
24. plur / 多 /  
    　理由：上記(24)と同様。  
    　学習コスト：同じく「多」を再利用。

decimal

* + 十进
  + 「十進(十進法)」の略。実際の中国語では「十进制」が一般的だが、学習コストを抑えるため2文字化。
  + 「十」は画数が少なく意味も明快で、「进」も比較的初級レベルで汎用度が高い。

1. on (分数を示す接尾辞)
   * 分
   * 日本語の「分数」「分ける」に通じ、中国語でも「分」は割合や分割を示す最頻出の漢字。
   * 画数が少なく、すでに馴染みのある概念として学びやすい。
2. frakci (分数)
   * 分数
   * 中国語で「分数」はごく標準的な数学用語。
   * 「分」はすでに登場、そこに「数」を加えることで意味が明確になりつつ学習コストも比較的低い。
3. segment (線分)
   * 线段
   * 中国語で線分を指す標準的表現。
   * 「线」「段」ともに日常でもよく使われ、数学用語としての認知度も高い。
4. tangent (正接)
   * 切线
   * 中国語で接線(正接)を指す一般的表現。「切＝切る」「线＝線」。
   * 上記(segment)の「线」を再利用しており、学習コストを抑えられる。
5. kvadratur (求積法)
   * 求积
   * 中国語の数学用語として「求積」を指す熟語。
   * やや画数はあるが、既存の用法が明確で専門用語として認識されやすい。
6. racional (有理の)
   * 有理
   * 「有理数」(rational number) の語源部分にあたる。
   * 「有」「理」はどちらも日常的にもよく使われ、意味の把握が容易。
7. kvocient (商)
   * 商
   * 割り算の結果(quotient)を表す単独漢字。
   * 一文字で完結し、数学では最も一般的に用いられる語。
8. koeficient (係数)
   * 系数
   * 中国語の「係数」を表す標準表記。
   * 「数」はすでに登場済み。新出の「系」も比較的画数が少なく、再利用もしやすい。
9. renesanc (ルネサンス)

* 文艺复兴
* 中国語で「ルネサンス」を指す確立した表現。
* 少し長めだが、中国語圏で最も認知される歴史用語。

1. reformaci (宗教改革)

* 宗教改革
* 歴史用語として定着している標準的な表現。
* 「宗」「教」は後述の宗教関連語と併用しやすい。

1. krist (キリスト)

* 基督
* 中国語で「キリスト」を指す代表的な表記。
* 宗教関連で広く通用する語。

1. jesu (イエス)

* 耶稣
* 中国語におけるイエスの一般的呼称。
* 宗教関連の文脈で頻出し、認知度が高い。

1. jezuit (イエズス会士)

* 耶稣会
* 「イエズス会」を指す中国語表現。
* 「耶稣」を再利用しており、新規漢字は「会」のみ。

1. bibli (聖書)

* 圣经
* 聖書を指す中国語の基本表現。
* 宗教用語として広く通用、2文字で比較的覚えやすい。

1. evangeli (福音書)

* 福音
* 中国語で「福音(書)」に相当する一般的表記。
* キリスト教関連文脈で頻出し、分かりやすい。

1. eklezi (教会=制度・組織)

* 教会
* 組織としての教会を指す場合の標準表現。
* 「教」や「会」は既出漢字を活用できるため学習負担が少ない。

1. sinagog (ユダヤ教会堂)

* 犹太会堂
* 中国語でユダヤ教の集会所(シナゴーグ)を指す一般的な言い方。
* 「会」「堂」は常用漢字で、既存知識とも結びつけやすい。

1. kongregaci (教団・信徒集会=会衆)

* 会众
* キリスト教などで「会衆」「集会の信徒」を指す語。
* 「会」は既出。「众」も日常的に「大衆」などで使われ、覚えやすい。

1. religi (宗教)

* 宗教
* 最もベーシックな「宗教」の中国語表記。
* すでに別の語でも「宗」と「教」を使用しており再利用が可能。

1. sekt (宗派)

* 教派
* 宗派を指す一般的な呼称。
* 「教」は再利用でき、「派」も「流派」などで用例多く汎用性が高い。

1. paroĥ (教区)

* 教区
* 教区(パリッシュ)を指す基本的な表現。
* 「教」は既出、新出の「区」も画数が少なく覚えやすい。

1. parok (教区)

* 教区
* 22と意味が重複しているため同様の割当。
* 同一概念として同じ熟語を用い、学習負担を抑える。

1. monoteism (一神論)

* 一神论
* 中国語で一神教・一神論を指す標準的表記。
* 「一」「神」「论」はいずれも比較的よく使う漢字で、組み合わせもシンプル。

1. politeism (多神教)

* 多神论
* 多神教・多神論を指す一般的表記(「多神教」とも)。
* 24と対応をそろえ「神」「论」を再利用。対比関係が分かりやすい。

### 1) katolik / 天主教 / 理由

* 「カトリック教」を表す中国語で一般的な表現は「天主教」(3文字)です。
* 「天主」自体は「神」を意味する語ですが、カトリックという宗派名としては「天主教」が最も広く使われます。

#### 学習コスト

* 既出・今後再利用が見込まれる可能性の高い「天」「主」「教」を使用しています。「天」(天使など)、「主」(主顕節など)、「教」(清教など)に展開可能です。

### 2) puritan / 清教 / 理由

* 清教徒は中国語で「清教徒」(3文字)ですが、「徒」を省いて「清教」(2文字)でまとめました。
* 「清」は「清らか」「ピュア」の含意があり、「教」は「宗教・教派」の意味で再利用価値も高いです。

#### 学習コスト

* 「清」「教」はどちらも頻出漢字であり、特に「教」は他の宗派・宗教関連語にも広く流用できるため、学習コストを低めに抑えられます。

### 3) pilgrim / 朝圣 / 理由

* 「巡礼」「巡礼する」の意味として中国語では「朝圣」(2文字)が一般的です。
* 「朝」は「（ある場所・方角に）向かう」の意味合いも含み、「圣」は「聖なる・神聖な」を表します。

#### 学習コスト

* 「朝」「圣」は比較的画数が少なく、後述の「圣(聖)」は宗教関係で頻出のため再利用しやすいです。

### 4) preĝ / 祈 / 理由

* 「祈り」「祈る」を意味する中国語は「祈祷」「祷告」などが一般的ですが、なるべく字数を抑え「祈」(1文字)を提案しました。
* 「祈」は日本語でも「祈る」の意で通じやすく、中国語でも「祈る」ニュアンスが伝わりやすいです。

#### 学習コスト

* 1文字で単純明快。「祈」は画数8画ですが、後続で「祷」などを導入するよりは分かりやすいかと思われます。

### 5) kult / 礼拜 / 理由

* 「礼拝」「礼拝する」を中国語では「礼拜」と言う場合があります（※ただし「礼拜」には「週」「曜日」の意味合いもあります）。
* 宗教的な「崇拝」(worship)の意にも近く、日本語でいう「礼拝」に対応しやすい二字熟語です。

#### 学習コスト

* 「礼」は後の「礼仪」(liturgi)や「洗礼」(bapt)でも再利用が見込まれます。「拜」も割と初級～中級程度の漢字であり、汎用性がそれなりに高いです。

### 6) liturgi / 礼仪 / 理由

* 「礼拝式」「典礼」「礼拝の式次第」を表す中国語として「礼仪」(2文字)が対応します(本来は「礼仪」は「礼儀」の意味が強いですが、宗教の式典というニュアンスも広義に含められます)。
* 単に「礼」を重ねるより、式典・典礼のニュアンスを強調するため「仪」を加えました。

#### 学習コスト

* 「礼」は既出。「仪」は画数が少なめ(5画)で、今後儀式関連の他用例にも転用可能です。

### 7) orden / 勋章 / 理由

* 「勲章」を意味する中国語として一般的なのが「勋章」(2文字)です。
* 「勋」(功績)と「章」(記章)の組み合わせなので、日本語でいうところの「勲章」をイメージしやすいでしょう。

#### 学習コスト

* 2文字ですが、どちらも勲功・記章といった固有の文脈でよく使われるため、認知度は比較的高いです。

### 8) bapt / 洗礼 / 理由

* 「洗礼」の中国語は「洗礼」(2文字)がそのまま使われます。
* 「洗」は「洗う」「清める」、そして「礼」は礼拝・儀式的要素を示し、バプテスマをイメージしやすい表記です。

#### 学習コスト

* 「礼」はすでに「礼拜」「礼仪」で出現済み。「洗」も常用漢字であり学習しやすいです。

### 9) konsekr / 圣化 / 理由

* 「清める」「聖別する」「聖別式を行う」を中国語では「奉献」「祝圣」「圣化」など複数ありますが、字数を抑えた形として「圣化」を提案しました。
* 「聖なる状態にする」の直感的な表現です。

#### 学習コスト

* 「圣」はすでに「朝圣」などで出現済み。「化」は画数わずか4画と少なく、他の派生(〜化)にも転用しやすいです。

### 10) anunciaci / 天使报喜 / 理由

* キリスト教における「受胎告知」は中国語で「天使报喜」「圣母领报」など数種表現があります。
* ここでは「天使报喜」(4文字)を選択し、「天使」+「報(知らせ)」+「喜(吉報)」という直観的な組み合わせにしました。

#### 学習コスト

* 「天使」は後述(22番 anĝel)で再使用。「报」「喜」は新出ですが、日常中国語でも頻繁に使われるため汎用性は高めです。

### 11) epifani / 主显节 / 理由

* 「主顕節」の中国語は「主显节」(3文字)が一般的です。
* 「主」はキリスト教文脈で神(主)を、「显」は「現す/顕す」、「节」は「祭日・節日」のイメージを表します。

#### 学習コスト

* 「主」は既出(天主教)。
* 「显」「节」はやや新出ですが、宗教行事名でよく登場する組み合わせです。

### 12) pentekost / 五旬节 / 理由

* 「聖霊降臨祭」を表す中国語は「五旬节」(3文字)が定着しています。
* 「五旬」は直訳すると「50日」「五十日目」で、Pentecostの語源どおり50日目を指す表現です。

#### 学習コスト

* 「节」は直前(主显节)ですでに使用済み。「五」「旬」は日常でも見かける文字です。画数も比較的少ない方です。

### 13) pask / 复活节 / 理由

* 「復活祭」に相当する中国語が「复活节」(3文字)です。
* 「复活」は「生き返る」ニュアンスでイースター(耶稣复活)をイメージしやすく、「节」は祭日・節日の意。

#### 学習コスト

* 「节」はすでに再出。「复」(かえってくる)、「活」(生きる)はいずれも常用かつ単純な組み合わせ。

### 14) advent / 将临期 / 理由

* 「降臨節」に相当する中国語では「将临期」(3文字)がカトリック等で一般的です。
* 「将临」＝まもなく到来する、の意。「期」は期間・時期を表します。

#### 学習コスト

* 3文字ながら、いずれも非常に基本的な漢字(将/临/期)です。
* 「来临」だと単に「到来する」ニュアンスのみになるため、公式訳に近い「将临期」を選びました。

### 15) kruc / 十字架 / 理由

* 「十字架」を表す最も一般的な中国語表記が「十字架」(3文字)です。
* 形状のイメージとして日本語でも「十字架」と書くため、相互に把握しやすいでしょう。

#### 学習コスト

* 「十」「字」「架」すべて初歩～中級漢字。日常にも出現しやすい字形であり、理解も容易です。

### 16) krucifiks / 十字架像 / 理由

* キリスト受難像としての「crucifix」は、中国語だと「十字架耶稣像」など長めの表現が使われがちです。
* シンプルに「十字架像」(4文字)で「十字架の像」という意味を直接示すことにしました。

#### 学習コスト

* 「十字架」はすでに登場済み。「像」のみ新出ですが、ごく常用の範囲です。

### 17) hosti / 圣饼 / 理由

* 「(聖餐式で用いる)パン」を中国語では「圣体饼」や「圣饼」と呼ぶことがあります。
* より簡潔に「圣饼」(2文字)を採用。「聖なるパン」という直感的な構造です。

#### 学習コスト

* 「圣」は再出、「饼」は初出ですが「餅」と同系統で、日本人も“パン・粉もの”のイメージを掴みやすいでしょう。

### 18) komuni / 圣餐 / 理由

* 「聖餐式」「聖餐」を意味する中国語は「圣餐」(2文字)が一般的です。
* 「餐」は「食事」(meal)を表し、「聖なる食事」の直訳として分かりやすい表現です。

#### 学習コスト

* 「圣」は再出。「餐」(食)は日常語でも「早餐(朝食)」「晚餐(夕食)」などに登場し、汎用性が高いです。

### 19) eŭkaristi / 圣体 / 理由

* 神学的に「Eucharist(聖体)」は「圣体」と表記されることが多いです。
* 上記(18)「圣餐」との使い分け例として、「Eucharist」(より教義的・聖体そのもの)＝「圣体」、聖餐の儀式＝「圣餐」という棲み分けができます。

#### 学習コスト

* 「圣」は再利用。「体」は人間・身体など広い文脈で使える非常に基本的な漢字です。

### 20) kobold / 妖精 / 理由

* 「コボルト」(いたずら好きの妖精)は、中国語でざっくり「小妖精」と呼ばれることもありますが、短く「妖精」(2文字)を採用。
* 「妖」は怪異・不思議なニュアンスの総称、「精」は精霊・霊的存在のイメージです。

#### 学習コスト

* 「妖」「精」はいずれも幻想生物を表す際に再利用度が高く、後述の「精灵」「妖精」と整合しやすいです。

### 21) gnom / 土精 / 理由

* 「地の精」を指す「gnome」は、「土精」(2文字)が直訳的で分かりやすいかと思います(必ずしも定訳ではありません)。
* 「土」=大地・土壌、「精」=霊・精霊のイメージで「地の精霊」と理解しやすいでしょう。

#### 学習コスト

* 「精」は既出(妖精)なので重複利用。「土」も漢数字レベルに近い画数3画の基本字で負担は小さいです。

### 22) anĝel / 天使 / 理由

* 「天使」はそのまま中国語でも「天使」(2文字)です。
* 「天」は「天空・天の(神聖な)」、「使」は「遣わす/使者」。

#### 学習コスト

* 宗教や一般文学でも頻出の単語で、日本語でもカタカナ「エンジェル」以外に「天使」は馴染みがあり、両言語で共通認識が取りやすいです。

### 23) elf / 精灵 / 理由

* 「エルフ」を中国語では「精灵」(2文字)と呼ぶのが一般的です。
* 「妖精」や「小精灵」など他の言い方もありますが、エルフ全般を指すなら「精灵」がシンプルで通じやすい表現です。

#### 学習コスト

* 「精」は再出。「灵」は神霊、霊感などの「霊」を表す字で、こちらも宗教・神秘系文脈で転用可能です。

### 24) fe / 妖精 / 理由

* 「妖精」「フェアリー」のように訳される語根です。既出(20番 kobold)と同じ「妖精」(2文字)をそのまま再利用できます。
* 将来的には区別が必要ならば、上付き文字等で区別する運用を予定しています。

#### 学習コスト

* すでに「妖精」を導入済みなので、新たな文字の負担はありません。区別は後にルビや上付き文字などで対応可能です。

### 25) monstr / 怪物 / 理由

* 「怪物」はそのまま中国語でも「怪物」(2文字)です。
* 「怪」は「あやしい・不思議・奇怪」の意、「物」は「物体・もの」を指し、直観的に「モンスター」と対応しやすい表現です。

#### 学習コスト

* 「怪」「物」はいずれも日常漢字であり、単語としても「怪物」は広く知られています。

fantom / 鬼 /

* + 選定理由: 「幽霊」「幻影」を示すシンプルな表記として最適。「鬼」は日本語圏でも「おに」「き」として馴染みがあり、幽霊・怪異全般のイメージを喚起しやすい。
  + 学習コスト: 画数(9画)はやや多めだが、頻出度が高く、中国語・日本語どちらでも認知されやすい。

1. diabl / 魔鬼 /
   * 選定理由: 中国語で「悪魔」「デビル」を表す標準的な表現。「魔」単体よりも「魔鬼」のほうが「悪魔」ニュアンスを明確に伝えられる。
   * 学習コスト: 新たに「魔」を導入(21画とやや多い)するが、ファンタジーや宗教文脈では高頻度なので転用性は高い。「鬼」は先に登場済み。
2. demon / 恶鬼 /
   * 選定理由: 「悪霊」「邪悪な鬼」という意味をストレートに示す。「恶鬼」は中国語でも「凶悪な鬼」「悪霊」に相当。
   * 学習コスト: 「恶」は10画で、比較的よく使われる「悪」「醜悪」などの派生語でも馴染みがある。「鬼」は再利用。
3. furi / 复仇女神 /
   * 選定理由: 「復讐の女神」に相当する標準的な直訳が「复仇女神」(Furies, Erinyes)。
   * 学習コスト: 「复(12画)」「仇(4画)」「女(3画)」「神(9画)」で計4字。ただし「神」は既出。「女」は学習頻度が高い部首で汎用性も高い。
4. paradiz / 天堂 /
   * 選定理由: 中国語で「天国」「楽園」などを指す一般的表現。「乐园」もあるが、画数合計は「天堂」のほうが若干少ない。
   * 学習コスト: 「天(4画)」「堂(6画)」で合計10画。いずれも頻出漢字。
5. eden / 伊甸园 /
   * 選定理由: 「エデンの園」を示す中国語の定訳。「伊甸園」の簡体字形が「伊甸园」。
   * 学習コスト: 新規導入は「伊」「甸」「园」の3字。「园」は「公园(公園)」などでよく使われる。
6. sankt / 圣 /
   * 選定理由: 「聖なる」「神聖な」を意味する最も簡潔な簡体字。伝統的な「聖」の簡体字。
   * 学習コスト: 5画と少なく、汎用性が高い(「圣诞节(クリスマス)」等)。
7. di / 神 /
   * 選定理由: 「神」「神格」「神様」を表す代表的な単字。
   * 学習コスト: 9画。「神」は日本人にも「神(かみ)」として直感的に意味が伝わりやすい。
8. Di## / 上帝 /
   * 選定理由: 一神教における唯一神として「上帝」は中国語で一般的。「天主」などもあるが「上帝」が汎用度高。
   * 学習コスト: 「上(3画)」「帝(9画)」の2字。いずれも比較的基本的な漢字。
9. diakon / 执事 /

* 選定理由: キリスト教会における下位聖職「助祭」を意味する中国語訳の一つ。
* 学習コスト: 「执(6画)」「事(8画)」。どちらも汎用度が高い。

1. orakol / 神谕 /

* 選定理由: 「神託」「神のお告げ」の意味を表す標準的な中国語。「神」は既出。
* 学習コスト: 「谕(10画)」はやや新規だが、「神」は再利用。

1. providenc / 天意 /

* 選定理由: 「神の摂理」「天の思し召し」を中国語で簡潔に表す語。ほぼ「Providence」に相当。
* 学習コスト: 「天(4画)」「意(13画)」。各自よく用いられるので汎用性は高い。

1. altar / 坛 /

* 選定理由: 「祭壇」を指すシンプルな単字表現。中国語で「壇」(繁体)の簡体形。
* 学習コスト: 5画程度と比較的少ない。

1. maŭzole / 陵 /

* 選定理由: 「霊廟」「大規模な墓所」を示す場合、中国語では「陵」が最も簡潔。
* 学習コスト: 10画。「皇陵」「帝陵」等でよく登場し、ある程度の汎用性がある。

1. pagod / 塔 /

* 選定理由: 「仏塔」「パゴダ」を指す代表的な単字。「宝塔」とする手もあるが、「塔」単独で十分に通じる。
* 学習コスト: 12画だが、観光名所等でも頻出。

1. katedral / 大教堂 /

* 選定理由: 「大聖堂」を指す中国語訳として一般的。
* 学習コスト: 「大(3画)」「教(10画)」「堂(6画)」。うち「教」「堂」は他の宗教施設でも出現。

1. moske / 清真寺 /

* 選定理由: イスラム教の「モスク」に対する標準的な中国語表現。
* 学習コスト: 「清(11画)」「真(10画)」「寺(6画)」。既出の「寺」と併せて一部再利用。

1. templ / 寺 /

* 選定理由: 一般に「寺院」を表す代表的な単字。仏教寺院のイメージが強いが、簡潔さを優先。
* 学習コスト: 6画。すでに「清真寺」でも使用。

1. kript / 地下圣堂 /

* 選定理由: 「地下聖堂」「地下礼拝所」の意。「crypt」のニュアンスに近い表現として妥当。
* 学習コスト: 「地(6画)」「下(3画)」「圣(5画)」「堂(6画)」。すでに「圣」「堂」は再利用。

1. sakristi / 圣具室 /

* 選定理由: 「聖具室」「聖器室」に相当する直訳。「聖なる道具を保管する部屋」の意。
* 学習コスト: 「圣(5画)」は再利用。「具(8画)」「室(9画)」はいずれも常用漢字。

1. sakrament / 圣事 /

* 選定理由: カトリックで「秘跡」を指す標準的な訳として「圣事」が広く使われる。
* 学習コスト: 「圣(5画)」再利用、「事(8画)」は「执事」の「事」と同じ。

1. kapucen / 未対応 /

* 選定理由: 「カプチン会修道士」を示す短い定訳がなく、一般に「嘉布遣会修士」など長い表記が必要となるため。学習コストが高いので今回は割当見送り。

1. legat / 教皇使 /

* 選定理由: 「教皇特使」を完全に表そうとすると「教皇特使」「教皇特派使」など長めになるが、ここでは簡略化して「教皇使」。
* 学習コスト: 「教」「皇」「使」はいずれも常用度が高く、多少の新出はあるが汎用性は高い。

1. nunci / 教皇大使 /

* 選定理由: 「教皇特派大使」に相当するが、なるべく短く「教皇大使」。公使や大使のニュアンスに近い。
* 学習コスト: 「教」「皇」「大」「使」は比較的基礎的な漢字。「教」「皇」「使」は上記と重複。

1. kancelier / 大法官 /

* 選定理由: 「大法官」は中国語で「最高裁長官」「宰相的立場」などを指す場合に用いられる。ラテン由来の“chancellor”に近い役職。
* 学習コスト: 「大(3画)」「法(8画)」「官(8画)」の合計19画。いずれも汎用度高。

**1) kardinal / 枢机 / カトリックで「枢机卿」に相当し、中国語でも「枢机主教」として定訳があるため / 「枢」や「机」は比較的画数も少なめ**

**2) kanonik / 参事 / 「教会参事会員」に対応する訳が定着していないため、漢語の「参事(会議メンバー)」を暫定採用 / 「参」「事」どちらも画数が比較的少なく、他単語への転用も期待**

**3) prior / 副院长 / 大修道院における院長(abbot)の補佐、あるいは小修道院長に相当するため「副院长」とした / 「院」「长」は後述の修道院長にも転用可能**

**4) abat / 院长 / キリスト教系修道院(特にカトリック)の長(abbot)として「院长」を提案 / 「院」「长」で構成され学習コストが比較的低い**

**5) vikari / 助司 / 「助任司祭」を表す簡易訳。正式には「助理司铎」などもあるが短縮形として / 「助」「司」自体は他の熟語にも用いられ、画数もさほど多くない**

**6) apostol / 使徒 / 中国語でも「使徒」として非常に定着している / 「使」「徒」は画数は中程度だが他の宗教語にも流用可能**

**7) episkop / 主教 / カトリック・正教などの「司教」を表す中国語定訳「主教」を採用 / 「主」「教」とも初学者に馴染みがあり、画数も比較的少ない**

**8) sacerdot / 司铎 / カトリックの「司祭」の正式表現(「神父」は呼称寄り)。より厳密な用語として / 「司」「铎」はやや専門的だが、総画数はそれほど多くない**

**9) pastr / 牧师 / 一般に「聖職者」「牧師」を広く指す表現として中国語でも定着 / 「牧」「师」は宗教用語だけでなく他の職業表現にも転用されやすい**

**10) monaĥ / 修士 / 「修道士」を指す際に「修士」という略称が広く使われる(カトリック・正教・仏教などで用例あり) / 「修」「士」は画数が少なく覚えやすい**

**11) monak / 修士 / 「monaĥ」と同意の変形語根のため、同じく「修士」を割当 / 同上(既出)のため学習コスト増はない**

**12) novic / 初修 / 「修練士」「ノヴィス」(見習い修道士)を短く示すために「初修」としてみた / 「初」「修」いずれも既出または再利用しやすい**

**13) katekist / 教理员 / カトリックの「教理講授者」に相当し、実際に「教理员」という用語がある / 「教」「理」「员」は他分野でも使用頻度が高く、転用しやすい**

**14) kateĥist / 教理员 / 同上(綴りの変形語根)のため、同一表現を割当 / 重複利用で学習コストを抑えられる**

**15) urin / 尿 / 「排尿する」の動詞を含め、最も端的に関連する字として / 1文字で明確に「尿」を示すため学習負荷が低い**

**16) sekreci / 分泌 / 分泌の動詞/名詞いずれにも対応可能な熟語 / 「分」「泌」いずれも常用字であり、他の生理学用語にも応用しやすい**

**17) ekskrement / 粪 / 「糞便」を示す最も直接的な簡体字 / 「粪」一字で糞便を示し、画数も10画程度と許容範囲**

**18) sang / 血 / 「血液」を示す最も直接的な1文字 / 画数少なく、意味も直感的で学習容易**

**19) sperm / 精液 / 1文字の「精」だと曖昧になるため「精液」の2文字に / 常用字2文字の組み合わせで、他の生理・医学用語への転用性も高い**

**20) uter / 子宫 / 「子宮」に対応する標準的な簡体字表記 / 「子」「宫」は非常に基本的な漢字で、初学者にもわかりやすい**

**21) testik / 睾丸 / 生物学・医学で一般的な簡体字 / 2文字ながら専門用語以外ではまず使わないが、他に単字がない**

**22) ren / 肾 / 「腎臓」を示す簡体字 / 1文字で明確に指し示すため、学習コストも比較的低い**

**23) hepat / 肝 / 「肝臓」を示す最も基本的な漢字 / 画数少なく、意味も直観しやすい**

**24) gal / 胆汁 / 厳密には「胆汁」だが、1文字「胆」だと器官(胆嚢)や「度胸」などと混同する恐れがあるため2文字を採用 / 「胆」「汁」は画数が少なく他の身体関連表現にも転用可能**

**25) lien / 脾 / 「脾臓」を指す最も基本的な1文字 / 若干専門的ではあるが、画数もわずか12画で1文字としては許容範囲**

peritone / 腹膜 /

* + 選定理由: 中国語で「腹膜」は標準的呼称、日本語でも「ふくまく」として理解される。
  + 学習コスト: 「腹」(既出予定: ventr) と「膜」はやや画数が多め(腹=13画, 膜=14画)だが、医療用語として重要かつ汎用性(他の○○膜にも転用可)がある。

1. ezofag / 食管 /
   * 選定理由: 中国語圏では「食管」が一般的で、“食”+“管”という組み合わせから「食物の通り道」と直感しやすい。日本語で「食道」の代わりにやや違和感はあるが、意味は推測可能。
   * 学習コスト: 「食」と「管」は比較的常用漢字であり、「管」は気管(traĥe)、支気管(bronk)とも共有可能で汎用性が高い。
2. intest / 肠 /
   * 選定理由: 簡体字「肠」は腸を意味し、中国語で非常に一般的。日本語話者も「にくづき＋長」の形から「腸」を連想しやすい。
   * 学習コスト: 単一漢字(6画)で覚えやすく、類義語が少ないため混同も少ない。
3. ventr / 腹 /
   * 選定理由: 「腹」は中国語でも「fù」、日本語でも「はら／ふく」として「おなか・腹部」を示す単一漢字。
   * 学習コスト: 13画とやや多めだが、既出(腹膜)とも関連し、医療以外の日常語彙(お腹)としても汎用性が高い。
4. stomak / 胃 /
   * 選定理由: 中国語・日本語とも「胃」は最も一般的な単一漢字表現。
   * 学習コスト: 9画の単一文字で直感的。
5. pulm / 肺 /
   * 選定理由: 肺を意味する基本漢字で、中国語でも日本語でも同じ字形。「肺炎」「肺がん」などでも使われ、わかりやすい。
   * 学習コスト: 8画で単一漢字。
6. traĥe / 气管(→气管) /
   * 選定理由: 中国語の「气管」が「気管」を示す標準表現。「気+管」で「空気の管」と理解しやすい。
   * 学習コスト: 「气」は簡体4画、「管」は既出(食管)と同じで学習コストを抑えられる。
7. bronk / 支氣管(→支气管) /
   * 選定理由: 中国語の「支气管」は気管支の直訳に等しく、専門用語として定着。
   * 学習コスト: 「支」は4画で日中ともに馴染みのある常用字、「气」「管」は既出。
8. vejn / 静脉 /
   * 選定理由: 中国語で「静脉」は「vein(静脈)」を意味する医学的に正確な用語。日本語話者も「静脈(せいみゃく)」を連想しやすい。
   * 学習コスト: 「静」(14画)と「脉」(7画)の2文字だが、後続の「動脈」(arteri)や「主动脉」(aort)との対比で理解しやすい。
9. arteri / 动脉 /

* 選定理由: 中国語で「动脉」は「artery(動脈)」、日本語でも「動脈」を直感的に把握可能。
* 学習コスト: 「动」は6画で汎用性が高く(“動く”など)、すでに出た「脉」と組み合わせるだけなので追加負担が小さい。

1. aort / 主动脉 /

* 選定理由: 中国語では「主动脉」が大動脈の医学用語として定着。日本語も「主(主要) + 動脈」で意味を推測しやすい。
* 学習コスト: 「主」(5画)は日中ともに非常に常用頻度が高く学びやすい。「动脉」はすでに登場済み。

1. difteri / 白喉 /

* 選定理由: 中国語で「白喉」はジフテリアの一般的名称。日本語では一般にカタカナ表記(ジフテリア)だが「白喉」で推測可能。
* 学習コスト: 「白」(5画)と「喉」(12画)。どちらも日常使用頻度が高めで覚えやすい。

1. difterit / 白喉 /

* 選定理由: difteri(ジフテリア)と同じ病名。厳密には名詞形と形容詞(～の)形の違いなどあるかもしれないが、同じ漢字で統一。
* 学習コスト: 同上。

1. erizipel / 丹毒 /

* 選定理由: 中国語「丹毒」は丹毒(erysipelas)の標準的呼称。日本語でも「丹毒(たんどく)」として医学用語で通じる。
* 学習コスト: 「丹」(4画)「毒」(9画)ともに比較的常用(色・毒)。

1. tif / 斑疹伤寒 /

* 選定理由: 「typhus」の正確な中国語医学用語は「斑疹伤寒」。日本語でも「斑疹傷寒(はんしんしょうかん)」で通る。
* 学習コスト: 4文字とやや長いが、「斑」(12画)「疹」(10画)「伤」(6画)「寒」(12画)はいずれも医療関連で他の皮膚疾患等にも転用可能。

1. sifilis / 梅毒 /

* 選定理由: 日中ともに「梅毒」がsyphilisの標準名称で分かりやすい。
* 学習コスト: 「梅」(11画)は比較的常用、「毒」は既出(丹毒)。

1. hidrofobi / 恐水病 /

* 選定理由: 「恐水病」はrabies(狂犬病)の同義として用いられる場合もあるが、hydrophobiaとして「水を恐れる病」として理解しやすい。
* 学習コスト: 「恐」(10画)「水」(4画)「病」(10画)はいずれも基本的かつ汎用。

1. hipertrofi / 肥大 /

* 選定理由: 「肥大」は医学的にも「肥大症」などで使われ、中国語・日本語ともに同形同義。
* 学習コスト: 「肥」(8画)「大」(3画)ともに初級レベルの常用字。

1. katarakt / 白内障 /

* 選定理由: 中国語・日本語ともに白内障(cataract)を指す標準医療用語。
* 学習コスト: 「白」は既出、「内」(4画)「障」(14画)はそこそこ一般的(内側・障害)。

1. diabet / 糖尿病 /

* 選定理由: 中国語・日本語とも「糖尿病」はdiabetesの定訳。
* 学習コスト: 「糖」(16画)「尿」(7画)「病」(10画)はいずれも医療分野で頻出。

1. plik / 纠发病 /

* 選定理由: 「Polish plait(糾髪病)」の簡体表記。「纠」は「糾」の簡体、「发」は「髪」の簡体。病名として正確な定着は薄いが、字面で「髪が絡まる病」と推測しやすい。
* 学習コスト: 全3文字。「纠」(5画)「发」(5画)「病」(10画)はいずれも比較的基本的な字形。

1. kal / 胼胝 /

* 選定理由: 「胼胝(へんち)」は医学用語で「たこ・うおのめ」の正式名称。中国語でも「胼胝(piánzhī)」。
* 学習コスト: 「胼」(8画)「胝」(9画)はいずれも専門用字だが、日本語・中国語で共通する医学用語としては妥当。

1. fav / 黄癣 /

* 選定理由: 「favus(黄癬)」の中国語表記の一つ。日本語「黄癬(おうせん)」とも近く、「黄色い癬＝ringworm系」として連想可能。
* 学習コスト: 「黄」(11画)と「癣」(14画)。やや画数多めだが「癬」は皮膚病関連で汎用(白癬・頭癬など)。

1. skrofol / 瘰疬 /

* 選定理由: 中国語でscrofula(るいれき)は「瘰疬(luǒlì)」が定訳。日本語でも「瘰疬(るいれき)」の文字で通じる。
* 学習コスト: 「瘰」(13画)「疬」(7画)と専門的な漢字2字だが、他の選択肢も少なく医学用語として適切。

1. skabi / 疥疮 /

* 選定理由: 中国語で「疥疮(jièchuāng)」はscabies(疥癬)の基本用語。日本語の「疥癬(かいせん)」にも対応。
* 学習コスト: 「疥」(7画)「疮」(7画)はいずれも皮膚病関連表記としてまとまっている。

### ****1) furunk****

furunk/疔/中国語で「疔」(dīng)は皮膚の化膿性炎症(いわゆる「おでき」)を指す常用医学用語/画数も比較的少なく「疒+丁」の組み合わせでわかりやすい

* 選定理由: 「furuncle(おでき)」に対応する代表的な単字として「疔」がある。
* 学習コスト: 「疒(病だれ)」は他の疾患名でも頻出する部首なので、学習転用がしやすい。

### 2) pips

pips/鸟舌/鳥類の“舌の病気”というイメージで2字組みによる仮対応/実際の標準医学用語ではない点に注意

* 選定理由: pipsは「鳥の舌病」を指す非常に特殊な疾患で、単字対応は存在しないため、「鳥(鸟)＋舌」で「鳥の舌の病気」のイメージを作った。
* 学習コスト: 「鸟」「舌」ともに初級レベルで比較的画数も少なく、意味連想がしやすい。ただし中国語の正式な病名ではない点に要注意。

### 3) tuberkul

tuberkul/结节/医学的に「結節(結核の結節など)」を示す語として一般的/日本語の「結節」にも対応する

* 選定理由: tubercle(小さな結節)を表す中国語としては「结节」が標準的。
* 学習コスト: 「结」(糸編+吉)と「节」(艹部+卩)はいずれも比較的頻出の漢字で、汎用性が高い。

### 4) fistul

fistul/瘘/「瘘(ろう)」は瘻孔や瘻管を意味する中国医学用語/単字で対応可能

* 選定理由: 「瘘」は「瘻(瘻孔)」の簡体字であり、瘻管(fistula)を指す標準的表記。
* 学習コスト: 画数はやや多め(14画)だが、あえて2文字熟語「瘘管」とするよりも短く、意味も直接的。

### 5) pustul

pustul/脓疱/膿疱(のうほう)を意味する2字熟語/日本語の「膿疱」に相当し、中国語でも一般的

* 選定理由: 「脓疱」は最もポピュラーな「膿疱」の中国語表記。単字「疱」だけでは「水疱」(blister)のイメージが強く、「脓」(膿)と組み合わせることで「膿を伴う疱」を明確に示せる。
* 学習コスト: 「脓」(にょう/ノウ)・「疱」(ホウ)はどちらも病名表記でしばしば登場する。2字でありつつも意味がはっきりわかるため妥当。

### 6) tetan

tetan/破伤风/「破傷風」(破伤风)は破傷風菌による感染症を指す、きわめて一般的な名称

* 選定理由: テタヌス(tetanus)の最も通用する中国語名。「破伤风」以外に短い単字は存在しない。
* 学習コスト: 3文字とやや長いが、中国語圏でもっとも標準的・認知度の高い呼称。

### 7) katalepsi

katalepsi/僵直/カタレプシーの主症状である“身体の硬直”をイメージした2文字組/正式には「强直性昏厥」等の表記もある

* 選定理由: カタレプシー(catelepsy)は「筋肉の強直(僵直)」を主に表すため、簡便に「僵直」とした。
* 学習コスト: 「僵」(死体が硬直する/僵硬)と「直」は比較的画数多めだが、より長い専門用語を使うよりは2文字に抑えられる。

### 8) herni

herni/疝/単字「疝(ヘルニア)」は中国医学でも「疝気」等を指す語/短く直接的

* 選定理由: 「疝」は「疝気」「ヘルニア」に対応する最も簡潔な表記。
* 学習コスト: 「疝」は部首「疒(病だれ)」＋「山」で比較的シンプル。医療用語としての頻度も高い。

### 9) ŝankr

ŝankr/下疳/「下疳」は性病性潰瘍(chancre)を示す最も代表的な2字熟語

* 選定理由: 古くからの中国医学用語として「下疳」は梅毒・軟下疳などの潰瘍性病変を指す。
* 学習コスト: 「下」は初級漢字、「疳」は病名などで用いられるやや専門的な字だが、2文字構成で意味が通る。

### 10) ulcer

ulcer/溃疡/「潰瘍」の簡体字表記が「溃疡」で非常に一般的

* 選定理由: 潰瘍(ulcer)を示す標準的・最も普通の中国語。
* 学習コスト: 「溃」「疡」はともに医療分野で頻出し、炎症・病変を表す際に他の語とも組み合わせられる。

### 11) kolik

kolik/绞痛/いわゆる「疝痛(せんつう)・激しい差し込み痛」を意味する中国語で一般的な2文字表記

* 選定理由: 「colic=激しい腹痛」などを示す場合、中国語では「绞痛」が広く使われる。
* 学習コスト: 「绞」は「糸(纟)＋交」、「痛」は「疒＋甬」。いずれも医療用語として他でも用いられる部首構成。

### 12) piroz

piroz/烧心/「胸焼け」や「胃のむかつき」に近い感覚を2字でシンプルに表現

* 選定理由: 中国語の日常表現として「烧心」(文字通り“胸やけ”)は分かりやすい。専門的には「胃灼热」などもあるが、より短い表現を優先。
* 学習コスト: 「烧」と「心」はどちらも初級レベルの漢字で、直感的に“燃える心(むかつく)”イメージを連想しやすい。

### 13) angin

angin/咽峡炎/アンギナ(quinsy)＝口峡炎(扁桃周囲炎)の短縮形として通用/「咽峡炎」が比較的一般的

* 選定理由: 「angina(咽頭部の炎症)」に対し、標準的な疾患名として「咽峡炎」を採用。
* 学習コスト: 「咽」「峡」「炎」は全て他の疾病表現(口咽炎、峡部など)でも出現する常用字。

### 14) febr

febr/发烧/「熱がある」＝「发烧」は日常的に“熱発”を指す最も基本的な言い方

* 選定理由: fever(発熱)に相当する中国語で最も使われる表現が「发烧」。
* 学習コスト: 「发」(髪の簡体字と同音)・「烧」はともに基礎的かつ高頻度の漢字。

### 15) inflam

inflam/炎症/「炎症」の直訳。中国語でも「炎症」は一般医学用語

* 選定理由: inflammation = 炎症 は日常的・専門的にも広く使われる常用表現。
* 学習コスト: 「炎」「症」は病名全般でよく用いられるため、他疾患との併用も容易。

### 16) epidemi

epidemi/流行病/「流行病」「疫病」など。ここでは「流行病」を採用

* 選定理由: epidemicを指す代表的用語。2文字で「瘟疫」もあるが、「流行病」の方が日本人にもやや意味がつかみやすい。
* 学習コスト: 「流」「行」「病」は非常に高頻度な漢字であり、再利用範囲も広い。

### 17) mal/varm/um##

(「風邪」を意味している模様)  
mal/varm/um##/感冒/いわゆる「かぜ」(風邪)に対する中国語の最普通表現

* 選定理由: 風邪(common cold)に対して現代中国語では「感冒」が最もポピュラー。
* 学習コスト: 「感」「冒」はどちらも常用字。部首も再利用性が高い。

### 18) grip

grip/流感/インフルエンザ(流行性感冒)の略称として一般的

* 選定理由: influenza = 「流行性感冒」だが、実際には略して「流感」と呼ぶのが一般的。
* 学習コスト: 「流」「感」ともに既出で、重複使用できるので学習負担が軽減される。

### 19) ekzem

ekzem/湿疹/エクゼマ(湿疹)の中国語で最も一般的な表現

* 選定理由: eczema = 「湿疹」が標準的。単字はなく、2文字でコンパクト。
* 学習コスト: 「湿」「疹」はどちらも常用の病名表現で、「疹」は麻疹・皮疹など多方面で使用。

### 20) podagr

podagr/痛风/痛風(gout)の標準訳。中国語の「痛风」も非常に一般的

* 選定理由: gout＝「痛風」は文字通り「痛(痛み)＋風(ふう)」。日本語でも「痛風」。
* 学習コスト: 「痛」「风」は既出(「绞痛」「破伤风」など)と重なる可能性が高く、学習負担が軽減できる。

### 21) disenteri

disenteri/痢疾/赤痢や下痢を伴う感染症を指す標準医学用語

* 選定理由: dysentery＝「痢疾」は中国語でもっとも一般的な表現。
* 学習コスト: 「痢」は「疒＋利」、「疾」は「疒＋矢」。どちらも「疒」部首で統一されており、共通性が高い。

### 22) morbil

morbil/麻疹/はしか(measles)を指す最も普通の中国語

* 選定理由: 麻疹＝はしか。英語“measles”に相当する中国語表記で一般的。
* 学習コスト: 「麻」「疹」は他の病名(麻风、湿疹など)と共通部首があり再利用性がある。

### 23) lepr

lepr/麻风/らい病(leprosy)を意味する簡体字表記/日本語で言う「麻風病」に相当

* 選定理由: leprosyの中国語標準訳は「麻风病」だが、短縮形として2文字「麻风」でも通用する。
* 学習コスト: 「麻」も「风」も既出であるため、学習効率が良い。

### 24) epilepsi

epilepsi/癫痫/てんかん(epilepsy)の中国語最頻出名称

* 選定理由: epilepsy＝「癫痫」は病名表記として定着しており、単字では表せない。
* 学習コスト: 2文字で完結。やや画数多めだが、中国語としては標準。

### 25) skorbut

skorbut/坏血病/壊血病(scurvy)の定訳。文字どおり「血が壊れる病」

* 選定理由: scurvyを表す中国語は「坏血病」が定番。
* 学習コスト: 「坏」「血」「病」はいずれも単純かつ既出可能性の高い漢字で、再利用性が高い。

konvulsi **/** 痉挛 **/ 医学的に「けいれん」を指す標準的表現 / やや画数は多いが「痉」「挛」は医学用語として頻繁に登場し、日本語圏では「痙攣」の類推も可能**

1. gangren / 坏疽 / 壊疽の標準的な訳語 / 「坏(壊)」「疽(ソ)」はいずれも医学用語であり、画数はそこそこだが専門用語としては一般的
2. reŭmatism / 风湿 / リューマチ(風湿)の略称として広く使われる / 「风(風)」「湿」はどちらも基本的な漢字で、頻度も高め
3. katar / 黏膜炎 / カタル(粘膜炎)を直接表す既存の医学用語 / 「黏」「膜」「炎」は画数が多めだが、医学・生理用語としては一般的
4. artrit / 关节炎 / 関節炎を示す標準表現 / 「关(関)」「节(節)」「炎」は比較的よく出る漢字で、部首・構造の学習面でも再利用しやすい
5. ftiz / 肺结核 / 肺結核(肺結核症)を指す最も一般的な名称 / 「肺」「结(結)」「核」は他の医学用語でも頻出のため流用しやすい
6. tuberkuloz / 结核 / 結核全般を示す場合は「结核」で十分 / (6)と同じ「结」「核」を用いるため重複利用で学習コスト軽減
7. variol / 天花 / 天然痘を指す一般的名称 / 「天」「花」は初級レベルの漢字で画数も少なく、覚えやすい
8. kokluŝ / 百日咳 / 百日咳(pertussis)の標準的呼称 / 「百」「日」「咳」いずれも常用字で、意味の直感もしやすい
9. skarlatin / 猩红热 / 猩紅熱(しょうこう熱)の一般的訳 / 「猩」「红(紅)」「热(熱)」はやや画数はあるが、医学的に確立された名称
10. diet / 饮食 / 規定食や食事全般を表せるシンプルな語 / 「饮(飲)」「食」はどちらも頻出漢字で、意味の想起も容易
11. higien / 卫生 / 衛生を表す最も一般的な語 / 「卫(衛)」「生」の2文字のみでシンプル、学習負担も低い
12. san / 健康 / 健康を指す標準用語 / 「健」「康」は画数は中程度だが、日中双方で意味が分かりやすい
13. fart / 生活 / 「暮らす(健康状態で過ごす)」ニュアンスを簡潔に表現 / 「生」「活」は頻度が高く、学習しやすい
14. imun / 免疫 / 免疫(immune)を示す最も一般的な語 / 「免」「疫」は医学用語で頻度も高く、再利用可能
15. inokul / 接种 / 接種を表す標準的な動詞 / 「接」「种(種)」は画数はやや多めだが、他でも用いられる基本漢字
16. vakcin / 疫苗 / ワクチンを示す一般用語 / 「疫」「苗」は(15)などと組み合わせやすく、全体の学習コストを抑えられる
17. venen / 毒 / 毒を一文字で直接表す / シンプルかつ常用度が高く、他語根とも組み合わせ可能
18. pest / 瘟疫 / ペスト(疫病)などの「悪性伝染病」を指す語 / 「瘟」「疫」は(15)(17)と同じ「疫」を再利用
19. parazit / 寄生虫 / 寄生生物(寄生虫)を表す語 / 「寄」「生」「虫」はいずれも基本要素で、組み合わせ理解もしやすい
20. bacil / 杆菌 / バチルス(桿菌)を指す場合の標準表現 / 「杆」「菌」は(22)細菌関係などと一部重複し学習しやすい
21. bakteri / 细菌 / バクテリアを指す広義の語 / 「细(細)」「菌」の再利用で、一度覚えれば他の微生物関連にも展開可
22. simptom / 症状 / 症状を表す最も一般的な医学用語 / 「症」「状」は臨床文脈で頻出し、日中ともに意味をとりやすい
23. hospital / 医院 / 病院を示す簡明な語 / 「医」「院」は中国語での標準表現で、よく使われる組み合わせ
24. pacient / 病人 / 患者を表す簡易な訳語 / 「病」「人」は画数も少なく、意味の直感もしやすい
25. apotek / 药店 /  
    薬局・ドラッグストアの意味として中国語でも一般的な表現 /  
    「药(medicine)」と「店(store)」はいずれも基本的かつ画数も比較的少なめ。
26. medicin / 医学 /  
    「医学(いがく)」に相当。中国語でも「医学」は「医学の学問」全般を指す標準的な表現 /  
    既出の「医」は医療関連で頻出、「学」は「薬学」や「外科学」など他の「○学」に転用しやすい。
27. farmaci / 药学 /  
    薬学（pharmaceutics）に相当。中国語では「药学」と言う /  
    「药」「学」はすでに出現済みで、学習コストを抑えられる。
28. jalap / 未対応 /  
    メキシコ原産の薬草ヤラッパ。極めて専門的で対応する常用の簡体字表現が乏しい /  
    一般的な医学用語ではないため、無理にレア漢字を導入するより「未対応」とした。
29. narkot / 麻药 /  
    麻酔する・麻酔状態にする(narcotize)の動詞的用法。中国語では「麻醉」もあるが、動詞+名詞感をシンプルに「麻药(=麻酔薬)」で /  
    「麻」は“麻痺”・“麻酔”関連で使いやすい。「药」は既出。
30. narkotik / 麻醉药 /  
    名詞としての「麻酔薬」「麻薬」を指す語。中国語でも「麻醉药」は標準的 /  
    「麻」「醉」「药」の3文字だが、「醉」は新規導入になるものの、中国語で「麻醉药」は非常に一般的。
31. medikament / 药品 /  
    医薬品全般を指す語。「药品」は「薬品」「薬の品」という意味で中国語の常用表現 /  
    「药」は既出。「品」は今後「食品」「作品」などにも応用できる汎用的な字。
32. drog / 药物 /  
    一般的な「薬物」「ドラッグ」。生薬や薬物全般を含む曖昧な概念 /  
    「药」は既出。「物」も「动物(動物)」「物品(物品)」などで汎用性が高い。
33. pilol / 药丸 /  
    錠剤や丸薬を指す。中国語では「药丸」が典型的 /  
    「药」既出＋「丸」は画数少なく、丸剤としてのイメージも伝わりやすい。
34. plastr / 膏药 /  
    いわゆる「膏薬」「湿布」に近い貼り薬。中国語でも「膏药」は常用 /  
    「膏」はやや画数多めだが、他の選択肢も限られるため標準的用語を採用。「药」は既出。
35. homeopati / 同种疗法 /  
    同種療法(Homeopathy)の意味。中国語では「顺势疗法」「同种疗法」など複数表現があるが、こちらを採用 /  
    「同」「种」「疗」「法」は、それぞれ汎用性が高く、後に再利用できる可能性あり。
36. homeopat / 同种医师 /  
    同種療法を行う専門家。中国語として厳密な定訳は少ないが、ここでは簡略形で /  
    「同」「种」「医」「师」で構成。すでに「医」は既出、「师」は「老师」「工程师」などにも使える。
37. hidroterapi / 水疗法 /  
    水治療法(hydrotherapy)。中国語では「水疗(水療)」とも /  
    「水」「疗」「法」はいずれも今後再利用可能。
38. kurac / 治疗 /  
    (を)治す・治療するの動詞に相当。中国語で「治療」 /  
    「治」は新規だが、医療関連ではよく出る。「疗」は既出。
39. terapi / 疗法 /  
    (医)療法を意味。中国語で「疗法」 /  
    「疗」「法」はすでに登場済みで、学習コストが低い。
40. klinik / 诊所 /  
    (医)診療所・クリニック。中国語では「诊所」が最も一般的 /  
    「诊」「所」はいずれも常用かつ比較的画数も多くない。
41. kirurg / 外科医师 /  
    外科医。中国語で「外科医生」が標準だが、「医师」を合わせて使えば「师」を再利用できる /  
    新規は「外」「科」。今後「外科学」などにも転用可能。
42. ĥirurg / 外科医师 /  
    上と同義(綴りの違いのみ)。同じ対応語を再利用 /  
    意味は同一なので、学習コストを抑えるため再利用。
43. kirurgi / 外科学 /  
    外科学（surgery）。中国語では「外科学」 /  
    「外」「科」「学」はすでに登場済み(「外科医师」「医学」など)。
44. ĥirurgi / 外科学 /  
    同義語。上と同様、再利用 /  
    意味の重複により同じ漢字を割当。
45. operaci / 手术 /  
    (医)手術を行う、あるいは手術そのもの。中国語で「手术」が標準 /  
    「手」「术」はともに非常に汎用性が高い。
46. amput / 截肢 /  
    (手術で)切断する。中国語で「截肢」が典型 /  
    「截」「肢」はいずれも手足の切断でよく使われる用語だが、やや専門的。
47. injekt / 注射 /  
    注射する・注入する(医療文脈では「注射」が一般的)。中国語でも「注射」 /  
    「注」「射」は常用かつ理解されやすい。
48. klister / 灌肠 /  
    浣腸(医用語)。中国語で「灌肠」が標準 /  
    「灌」「肠」は新規だが、他に適切な短い表現が少ない。
49. zuav / 未対応 /  
    [軍]アルジェリア歩兵「ズアーブ兵」。非常に特殊な語で一般的な漢字表現がほぼ存在しない /  
    新たに難読漢字・当て字を導入するより「未対応」とした。

sieĝ

* 提案: 围
* 理由: 「囲(围)」は「取り囲む・包囲する」意をもち、日中ともに「包囲・囲む」のニュアンスが伝わりやすい。
* 学習コスト: 画数は比較的少なめ(7画)。今後「囲攻(围攻)」などでも使える汎用性あり。
* embusk
* 提案: 伏击
* 理由: 「伏击」は中国語で「待ち伏せ」「奇襲」を表し、日中ともに“伏せ”と“撃(攻撃)”で連想しやすい表現。
* 学習コスト: 「伏(6画)」「击(5画)」ともに比較的少画数で、他の軍事用語(「突击」「狙击」など)でも「击」を再利用可能。
* arm## ※語根末尾に##があるので「武器(名詞寄り)」を割り当て
* 提案: 武器
* 理由: 日本語の「武器」、中国語の「武器」でそのまま一致し、互いに“兵器・武器”の意味を連想しやすい。
* 学習コスト: 「武(8画)」「器(15画)」はいずれも常用字で、後述の「武装」など「武」の再利用が期待できる。
* arm
* 提案: 武装
* 理由: 「(人や組織を)武装させる」という動詞的ニュアンスを含む標準的な中国語表現。「武器」と同じ「武」の字を使うことで関連づけが容易。
* 学習コスト: 「武(8画)」「装(12画)」は比較的なじみのある字。「武」はすでに(3)で使用しており再利用できる。
* mobiliz
* 提案: 动员
* 理由: 中国語で「動員する」にあたる最も一般的な表現。日本語でも「動員」と言えば軍事・人的リソース動員の意味が通じる。
* 学習コスト: 「动(6画)」「员(7画)」はいずれも頻出字。
* rekrut
* 提案: 新兵
* 理由: エスペラント上の訳が「[軍]新兵」とあるように、新たに徴募した「新兵」を表すのに中国語でも「新兵」が自然。
* 学習コスト: 「新(13画)」「兵(7画)」。後述の「兵」再利用で学習コストを抑制。
* kanon
* 提案: 炮
* 理由: 「大砲」を意味するシンプルな1文字(簡体字)。日本語の「砲」に相当し、漢字形はやや異なるが意味は取りやすい。
* 学習コスト: 画数(9画)はさほど多くなく、「炮兵」「炮台」などにも使えて汎用的。
* munici
* 提案: 弹药
* 理由: 「弾薬」の標準的な簡体字表記で、中国語でも頻用される語。
* 学習コスト: 「弹(11画)」「药(9画)」ともに一般的字。今後「手榴弹」などでも「弹」が再利用可能。
* artileri
* 提案: 炮兵
* 理由: 「砲兵隊」を指す最も簡潔な表現。現代中国語で「炮兵」と言えば大砲を扱う兵科を指す。
* 学習コスト: 「炮」は(7)と同じ字を使い回し、「兵」も(6)などで既出。重複利用で負担軽減。
* grenad
* 提案: 手榴弹
* 理由: 中国語で「手榴弾」は「手榴弹」が最も標準的。
* 学習コスト: やや文字数が多い(「手(4画)」「榴(14画)」「弹(11画)」)が、軍事用語としては一般的。
* torped
* 提案: 鱼雷
* 理由: 「魚雷」は中国語で「鱼雷」が定訳。
* 学習コスト: 「鱼(8画)」「雷(13画)」と2文字構成で覚えやすい。
* salv
* 提案: 齐射
* 理由: 「一斉射撃」を示す語として、中国語の「齐射(一斉射撃/一斉放火)」が端的。
* 学習コスト: 「齐(6画)」「射(10画)」はいずれも比較的使いやすい。
* halebard
* 提案: 戟
* 理由: 「halberd(ほこやり)」に対応する古典的な武器名として、中国語では「戟」が該当。
* 学習コスト: やや古い武器名だが1文字(9画)で済む。専門用語なので1字で割り当てるほうが簡潔。
* afust
* 提案: 炮架
* 理由: 「砲架(大砲の架台・砲架)」を中国語では「炮架」と言うことが多い。
* 学習コスト: 「炮」は既出、「架(9画)」も比較的シンプル。
* kazemat
* 提案: 炮郭
* 理由: 日本語の「砲郭(カゼマット)」に相当する概念。現代ではやや専門・古風だが、対応が見当たらない場合はこれが近い。
* 学習コスト: 「炮」は既出、「郭(10画)」はやや画数多めだが、専門用語ゆえ仕方ない。
* piked
* 提案: 哨
* 理由: 「(小)哨」「哨兵」「哨所」など、哨の字は「軍の小規模な哨戒・哨所」を表すのに使われる。
* 学習コスト: 1文字(9画)で比較的覚えやすい。「岗哨」など関連語へも展開可能。
* ponton
* 提案: 平底船
* 理由: 「平底船」は「平らな底を持つ舟・pontoon/barge」を指し、軍事用途の「舟橋(pontoon bridge)」にも関連づけやすい。
* 学習コスト: 「平(5画)」「底(8画)」「船(6画)」はいずれも基本的な漢字。
* eskadr
* 提案: 舰队
* 理由: 海軍用語での「艦隊・分艦隊」を示す場合、「舰队」が広く用いられる(厳密には「分舰队」もあるが簡潔さ優先)。
* 学習コスト: 「舰(10画)」「队(4画)」。後者「队」は護衛隊など多用可能。
* admiralitat
* 提案: 海军部
* 理由: 「海軍本部」の意。中国語では「海军部」「海军司令部」などが近いが、より簡潔な3文字で「海军部」に。
* 学習コスト: 「海(9画)」「军(6画)」「部(10画)」はいずれも頻度の高い字で、他軍事用語にも転用可能。
* gvardi
* 提案: 亲卫队
* 理由: 「親衛隊・近衛隊」の意味合いを持ち、中国語では「亲卫队」または「近卫队」が対応。ここでは「親衛隊」のニュアンスを優先して「亲卫队」。
* 学習コスト: 「亲(9画)」「卫(3画)」「队(4画)」と3文字。すでに「队」は(18)などで登場済み。
* divizi
* 提案: 师
* 理由: 中国軍の「師(division)」に相当。日本語の「師団」(師+団)だが、中国語では「师」のみで「師団」規模を表せる。
* 学習コスト: 1文字(6画)で「division」の意味が伝わるうえ、簡潔。
* kazern
* 提案: 兵营
* 理由: 「兵営(兵舎、軍隊の宿営地)」、日本語の「兵営」「兵舎」に近い概念。
* 学習コスト: 「兵(7画)」「营(8画)」はどちらも軍事用語で頻出。既出の「兵」再利用。
* infanteri
* 提案: 步兵
* 理由: 「歩兵隊」の意味として、中国語で「步兵」が最も直接的な表現。
* 学習コスト: 「步(7画)」「兵(7画)」。どちらもよく使われる軍関連用字。
* skadr
* 提案: 骑兵中队
* 理由: 「騎兵中隊」を示す場合、中国語で「骑兵中队」が自然。
* 学習コスト: 「骑(10画)」「兵(7画)」「中(4画)」「队(4画)」。すでに「兵」「队」は既出。
* kavaleri
* 提案: 骑兵
* 理由: 「騎兵隊」の総称として、中国語の「骑兵」が最も標準的。
* 学習コスト: 「骑(10画)」「兵(7画)」はいずれも既出・再利用可。

brigad

* + brigad/旅/
  + 理由: 中国語の軍事用語では「旅」が「旅级(旅＝brigade相当)」を指す用法があるため。
  + 学習コスト: 日本語では「旅＝旅行」のイメージが強いが、慣れれば「軍隊単位としての旅」として区別可能。シンプルな1文字なので他語根との重複は少ないが、総画数は少なめ。

1. regiment
   * regiment/团/
   * 理由: 中国語で「団(簡体字: 团)」は「(軍)連隊」の意味を含む。「军团」などにも登場する頻出字。
   * 学習コスト: 日本語「団」と同源でイメージしやすい。すでに他の軍関連語根でも「团」を組み合わせる可能性あり。
2. batalion
   * batalion/营/
   * 理由: 中国語で「営(簡体字: 营)」は「battalion」の単位として広く使われる。
   * 学習コスト: 日本語の「営」とほぼ同じ字形なので、比較的覚えやすい。
3. legi
   * legi/军团/
   * 理由: 「legion(軍団)」に相当する中国語は「军团」が定訳。
   * 学習コスト: 「军(軍の簡体)」と「团(団の簡体)」は軍事関連で頻出し、他の語根(armeなど)とも共通して使いやすい。
4. arme
   * arme/军队/
   * 理由: 「軍隊」は中国語で「军队」が最も標準的。
   * 学習コスト: 「军」「队」はいずれも画数が少なく、軍関連の用語で再利用しやすい。
5. korpus
   * korpus/军团/
   * 理由: 「(army) corps」も中国語では「军团」と呼ぶことが多い。「legi」と同じ表記にしておき、のち区別は上付き文字などで対応可能。
   * 学習コスト: すでに登場している「军」「团」で対応でき、学習コストを低減できる。
6. aviad
   * aviad/航空/
   * 理由: 「aviation, aeronautical」に対応する最も一般的な中国語は「航空」。
   * 学習コスト: 「航」「空」は日本語でも意味が類推しやすく、のちに「航空器」などへ派生が容易。
7. aviad/il##
   * aviad/il##/航空器/
   * 理由: 「航空機」に近いニュアンスとして、中国語で「航空器」が比較的標準的。「飞行器」もあり得るが、「aviad」と同じ「航」「空」を継続利用して「器」1文字を追加するほうが漢字の流用が高い。
   * 学習コスト: 新規の「器」は画数がやや多いが、「航」「空」は7) と共通なので全体的には抑えられる。
8. aeroplan
   * aeroplan/飞机/
   * 理由: 中国語で「飛行機」に相当する語は「飞机」が最もポピュラー。
   * 学習コスト: 「飞」は画数が少なく、後続の「pilot(飞行员)」などにも流用しやすい。「机」は機械全般に使うため汎用性高め。
9. flug

* flug/飞/
* 理由: 「飛ぶ」に相当する中国語はシンプルに「飞」。
* 学習コスト: 画数2画と少なく、9)「飞机」などでも再利用できる。

1. pilot

* pilot/飞行员/
* 理由: 中国語で「パイロット」は一般に「飞行员」。
* 学習コスト: 「飞」は既出、ここで「行」「员」を加えるが、「员」は後続(例: 运动员)にも使えて汎用性が高い。

1. fregat

* fregat/护卫舰/
* 理由: 中国語で「フリゲート艦」は「护卫舰」が定訳。
* 学習コスト: 「护」「卫」「舰」は新出だが、いずれも軍艦系でよく使う字(護=守る, 衛=守る, 艦=船)なので、海軍関連語が増えれば流用可。

1. paraŝut

* paraŝut/降落伞/
* 理由: 「パラシュート」は標準的に「降落伞」。
* 学習コスト: 「降」「落」「伞」はいずれも比較的よく使われる単語(ただし「伞」はやや限定的)。「飛行」関連とは偏旁が異なるが、パラシュートには妥当。

1. helikopter

* helikopter/直升机/
* 理由: 中国語で「ヘリコプター」は「直升机」が一般的略称。
* 学習コスト: 「机」は9) などですでに登場。「直」「升」も比較的画数が少なく、意味が推測しやすい。

1. ambulanc

* ambulanc/救护车/
* 理由: 中国語「救护车」が「救急車(ambulance)」の定訳。
* 学習コスト: 「护」は12)で登場済み。「救」「车」はまだ少ない重複だが、乗り物系(车)として認識しやすい。

1. kurier

* kurier/信使/
* 理由: 「急使・急派の使者」を端的に表すには「信使」(messenger)が自然。「快递员」などは現代的「宅配便」のニュアンスが強いため除外。
* 学習コスト: 「信」は「手紙・メッセージ」「使」は「使う・～者」の字で、どちらも頻出。組み合わせとして覚えやすい。

1. ekspres

* ekspres/特快列车/
* 理由: 「急行列車」「特急列車」は中国語で「特快列车」「快速列车」などが定番。「急行」はやや和製寄り。「特快列车」が最も一般的。
* 学習コスト: 「特」「快」「列」「车」のうち「车」は再利用(15)。「快」は「快速」などでも応用可能。

1. aren

* aren/竞技场/
* 理由: 「闘技場」「アリーナ」は中国語で「竞技场」が適切。
* 学習コスト: 「竞」「技」「场」の3字。「场」は19)や21)でも登場予定で汎用性あり。

1. hipodrom

* hipodrom/赛马场/
* 理由: 「競馬場」は中国語で「赛马场」が一般的。
* 学習コスト: 「赛」は競技全般、「马」は動物の馬、「场」は18)と共通。組み合わせで覚えやすい。

1. cirk

* cirk/马戏团/
* 理由: エスペラント「cirk」は本来「サーカス(circus)」。中国語で「サーカス団」は「马戏团」。
* 学習コスト: 「马」は19)で既出、「戏」「团」は軍事(#2 regiment 团)とも共通し、使い回し可。

1. amfiteatr

* amfiteatr/圆形剧场/
* 理由: 「円形競技場」「円形劇場」に相当する中国語は「圆形剧场」が標準的。
* 学習コスト: 「场」は18),19) と重複。「圆」「形」「剧」は新規だが、「円形＝丸い形」「剧＝芝居・劇場」と比較的イメージしやすい。

1. gimnast

* gimnast/体操员/
* 理由: 「体操選手」「体操教師」的ニュアンスとしては「体操员」が分かりやすい(中国語で「～员」は“～の人”の意)。
* 学習コスト: 「体」「操」は新出だが、「员」は11) 等ですでに登場。スポーツ関係でさらに流用可能。

1. sport

* sport/运动/
* 理由: 一般的に「スポーツ」は中国語で「运动」が最も汎用的。「体育」は「学校の科目・教育」的ニュアンスが強い。
* 学習コスト: 「运」「动」は画数少なめ。24)「运动员」との連動で覚えやすい。

1. atlet

* atlet/运动员/
* 理由: 「運動選手」「アスリート」は中国語で「运动员」が最適。
* 学習コスト: 「运动」は23)と同じ、「员」は11),22)で再登場。三要素の組み合わせで意味を推測しやすい。

1. turnir

* turnir/锦标赛/
* 理由: 「トーナメント(勝ち抜き制大会)」は中国語で「锦标赛」や「淘汰赛」などの訳がある。一般的に「锦标赛」が“大会・選手権”全般で通じやすい。「比赛」(試合)だとやや広すぎるため区別。
* 学習コスト: 「锦」「标」は新出だが、「赛」は19)「赛马场」で既出。トーナメントのニュアンスを的確に伝えられる。

konkurenc **/** 竞争 **/ ビジネス分野などでの「競争」を表す標準的な簡体字表現 / 「竞」を再利用した2文字熟語であり、学習コストを抑えつつ意味を明確化**

* konkur / 竞 / 「競う」を示すシンプルな1文字 / 後に「竞争」「竞赛」などでも使う「竞」を単独で利用することで学習コストを低減
* konkurs / 竞赛 / 「競技・試合」の意味を強調する標準的表現 / 「竞」を再利用しつつ「赛」を組み合わせることで、日本語話者にも「競賽」のニュアンスを想起しやすい
* ski / 滑雪 / スキーを指す最も一般的な簡体字表現 / 「滑」「雪」はともに比較的頻度が高く、今後も他語根で流用しやすい
* sabr / 马刀 / サーベルに近い「騎兵の刀」を指す表現 / 「刀」の再利用が容易で、画数も少なく学習しやすい
* sled / 雪橇 / そりを表す標準的表現 / 「雪」は「滑雪」と共通し、ある程度の再利用が可能
* sel / 鞍 / 鞍そのものを指す簡体字 / 1文字で完結し、やや画数はあるが常用字として認知度は高い
* bilard / 台球 / ビリヤード(プール)を表す簡体字 / 「台」「球」はどちらも使用頻度が高く学習コストも比較的低め
* polk / 波尔卡 / ポルカを指す中国語の一般的音訳 / やや文字数は多いが、国際舞踊の名称としては定番の表記
* parodi / 戏仿 / 「パロディ」に相当する簡体字表現 / 「戏(戯)」「仿(模倣)」という比較的意味を推測しやすい漢字を再利用
* burlesk / 滑稽 / 「滑稽、こっけい」を表し、バーレスク的滑稽さを表現 / 「滑」は「滑雪」と同字だが文脈で区別可能
* barikad / 路障 / バリケードや路上障害物を表す簡体字 / 「路」「障」ともによく使われるため、一部再利用も想定
* lice / 高中 / フランスの“リセ”＝おおむね高校相当として便宜的に割当 / 「高」「中」は教育関連語根でしばしば登場し学習しやすい
* gimnazi / 高中 / ドイツ式“ギムナジウム”＝高等中学相当として同様に割当 / 「lice」と同じ割当で、上付き文字等で区別
* skol / 学派 / 思想・芸術などの「流派・学派」を表す際の標準的な簡体字 / 「学」は教育系で既出、学習負担を抑えられる
* fakultat / 学院 / 大学内の「学部」「学群」等を指すイメージで割当 / 「学」は既出で「院」も大学関連の文脈で再利用可能
* student / 学生 / 大学などの学生を指す基本的表現 / 「学」「生」ともに教育系で頻出、理解しやすい
* universitat / 大学 / 「大学」を指す最も基本的な簡体字 / すでに「学」を使っており、追加画数は抑えられる
* kolegi / 学院 / カレッジ(専門学校含む)として「学院」で再利用 / 「fakultat」と同じ割当で区別は上付き文字等を用いる
* akademi / 学院 / アカデミー(学士院・研究院)を広義に「学院」で便宜的に統一 / 教育研究機関として同じ熟語を再利用
* temperatur / 温度 / 温度を指す最も基本的な簡体字 / 「温」「度」は後述の「温度计」にも登場し再利用しやすい
* termometr / 温度计 / 温度計を表す標準的な3文字熟語 / 「温度」に「计」を付加するだけなので新規学習負担を軽減
* hejt / 加热 / (暖房など)熱を加える動作を示す表現 / 「热」は後述の「varm」とも関連でき、画数も比較的少なめ
* varm / 热 / 暑い・熱い・暖かいをまとめて表せる汎用的単一字 / 中国語の日常語彙であり、日本語でも「熱」の簡体字と連想可能
* ard / 灼 / 白熱・灼熱など「激しく燃える」を示す単一字 / 「火」偏を含み直感的に熱さをイメージしやすい

1. topograf / 地形家 /
   * 選定理由: 「topograf」は地形を扱う測量・図化の専門家という意味。簡潔に「地形」をあて、専門家の意で「家」を付与しました。
   * 学習コスト: 「地」「形」「家」はいずれも頻出度が高く、他分野への転用も容易。
2. geolog / 地质学家 /
   * 選定理由: 「地质」は「地質(地质)」で日本語話者にも意味が類推しやすい。研究者には「学家」を付与。
   * 学習コスト: 「地」「质」「学」「家」はいずれも高頻度漢字。
3. geograf / 地理学家 /
   * 選定理由: 「地理」は日本語でも同形で、「地理学」を示すのに直観的。「学家」で学問的専門家。
   * 学習コスト: 「地」「理」「学」「家」は、前項との重複多数で学習コストが低め。
4. paleograf / 古文字学家 /
   * 選定理由: 「古文字」は漢字文化圏で「古い文字」を指す表現として分かりやすい。学問研究者には「学家」。
   * 学習コスト: すでに出現している「古」「文」「字」「学」「家」は比較的基本的。
     + ※「文字学」や「古文字学」は日中両方で専門用語として通じる。
5. paleontolog / 古生物学家 /
   * 選定理由: 「古生物」は「古代の生物」を扱う学問領域で日中両言語で馴染みあり。
   * 学習コスト: 「古」「生」「物」「学」「家」はいずれも他用語で重複しやすく、学習負担が小さい。
6. grafolog / 笔迹学家 /
   * 選定理由: 「grafolog」は筆跡学者を指すため、中国語でも「笔迹(筆跡)」が自然。「学家」で研究者のニュアンス。
   * 学習コスト: 「笔」「迹」「学」「家」は比較的常用。日本語話者にも「筆」「跡」と似た形でイメージしやすい。
7. etnograf / 民族志学家 /
   * 選定理由: 「民族志(Ethnography)」の専門家なので、「民族志」と「学家」の組合せ。
   * 学習コスト: 「民」「族」「志」「学」「家」など、他分野(歴史・社会学等)でも使い回せる漢字が多い。
8. genealog / 系谱学家 /
   * 選定理由: 系譜(系谱)や家系図の研究者。中国語で「系谱学」「家谱学」などもあるが、ここでは「系谱学家」を採用。
   * 学習コスト: 「系」「谱」「学」「家」は専門用語ながら、字形は比較的わかりやすい。
9. biograf / 传记作家 /
   * 選定理由: 「biographer」は“伝記を書く人”のニュアンスが強いため、「学家」よりも「作家」が自然。「伝記」は「传记」で簡体字。
   * 学習コスト: 「传」「记」「作」「家」は中国語でも頻出し、日本語からも類推しやすい。
10. filolog / 文献学家 /

* 選定理由: 「philologist」は文献学などの研究者。「文献学」＋「家」で学問的専門家を示す。
* 学習コスト: 「文」「献」「学」「家」も比較的常用で、既出の文字（文・学・家）と組み合わせやすい。

1. bibliograf / 书目学家 /

* 選定理由: 書誌学者は「书目学(書目学)」と表現可。そこに「学家」を付けて専門家を表す。
* 学習コスト: 「书」「目」「学」「家」いずれも日常的に使用度が高い。

1. veterinar / 兽医 /

* 選定理由: 「獣医」は中国語では「兽医」が最も一般的。「～学家」というより実務職的意味合いが強いため、この形を採用。
* 学習コスト: 「兽」「医」は医療関連でも広く用いられるため、汎用度は高い。

1. entomolog / 昆虫学家 /

* 選定理由: 「昆虫学」の研究者なので、「昆虫」＋「学家」。
* 学習コスト: 「昆」「虫」「学」「家」は生物・動物関連用語で他でも再利用しやすい。

1. ornitolog / 鸟类学家 /

* 選定理由: 「鸟类学」＝鳥類学。研究者には「学家」。
* 学習コスト: 「鸟」「类」「学」「家」で文字数は増えるが、意味の推測は容易。

1. zoolog / 动物学家 /

* 選定理由: 「動物学(动物学)」そのもの。
* 学習コスト: 「动」「物」「学」「家」は生物分野で頻出の組み合わせ。

1. biolog / 生物学家 /

* 選定理由: 「生物学」の研究者を表す定番表現。
* 学習コスト: 「生」「物」「学」「家」は既出と被りが多く、学習コストを抑えられる。

1. fiziolog / 生理学家 /

* 選定理由: 「生理学(生理学)」という既存の学問名＋「家」。
* 学習コスト: 「生」「理」「学」「家」はいずれも前出と重複・汎用性高い。

1. anatom / 解剖学家 /

* 選定理由: 「解剖学」は日中ともほぼ同形で、「家」を付けて研究者を示す。
* 学習コスト: 「解」「剖」「学」「家」はやや画数あるが、専門用語として妥当。

1. etiolog / 病因学家 /

* 選定理由: 「etiologist」は病因(etiology)の研究者。「病因学」＋「家」。
* 学習コスト: 「病」「因」「学」「家」で内容を類推しやすい。

1. patolog / 病理学家 /

* 選定理由: 「病理学」＋「家」。医学系専門分野。
* 学習コスト: 「病」「理」「学」「家」で既出漢字の再利用が多い。

1. astrolog / 占星家 /

* 選定理由: 「astrologer」は学問的(astronomer)というよりも占術家。「占星家」または「占星师」などが分かりやすい。
* 学習コスト: 「占」「星」「家」は画数も多くなく、直感的に意味をつかみやすい。

1. astronom / 天文学家 /

* 選定理由: 「天文学」＋「家」。占星術(21番)と区別し、こちらは科学者寄り。
* 学習コスト: 「天」「文」「学」「家」は基本的な字で構成。

1. retor / 修辞家 /

* 選定理由: 「修辞学」の専門家＝「修辞学家」でも可だが、やや長いので「修辞家」でも通じる。
* 学習コスト: 「修」「辞」「家」で表記は比較的簡潔。

1. teokrat / 神权者 /

* 選定理由: 「theocrat」は神権政治(神权)を推す立場の人。「～主义者(主义)」なども考えられるが字数が増えるため、「神权者」を採用。
* 学習コスト: 「神」「权」「者」はいずれも基本的概念を表す字。「神」「者」は特に再利用しやすい。

1. teist / 有神论者 /

* 選定理由: 「theist」は有神論を信じる人。「无神论(無神論)」の対義語として、「有神论者」は中国語で通じる定訳。
* 学習コスト: 「有」「神」「论」「者」で、「神」「者」は24番と重複。「论」も頻出語。

1. teolog / 神学家 /  
   「神学家」は「神学を研究する人」を意味する中国語であり、日本語話者にも「神学」と「家」の組み合わせで概ね意味が推測しやすい表現。  
   /「神」「学」「家」はいずれも日中で頻出し、画数も比較的少ないため、学習負担は低め。
2. mineralog / 矿物学家 /  
   「矿物学家」は中国語で「鉱物学者」を指す一般的な表現。  
   /「矿」「物」「学」「家」を組み合わせた4文字。すでに「学」「家」は他でも再利用する予定で、全体の文字種類を抑えられる。
3. metalurgi / 冶金学 /  
   「冶金学」は冶金術・冶金工学を指す中国語として定着している用語。  
   /「冶」「金」「学」の3文字構成。「冶」はやや専門性があるが画数は多くなく、再利用性はそこそこ見込める。
4. mineralogi / 矿物学 /  
   「矿物学」は鉱物学を表す中国語として標準的。  
   /「矿」「物」「学」の組み合わせで3文字。既に登場した文字を再利用しており、学習負担は低め。
5. numismat / 钱币学家 /  
   「钱币学家」は貨幣(古銭含む)の収集・研究家を指す中国語表現。  
   /「钱」「币」「学」「家」はすべて常用度が高く、画数も比較的少ない。
6. numismatik / 钱币学 /  
   「钱币学」は貨幣学・古銭学を指す中国語表現。  
   /「钱」「币」「学」の3文字は上記と同じ文字を再利用しており、学習コストを抑えられる。
7. paleografi / 古文字学 /  
   「古文字学」は古代の文字・文書を研究する学問を指す中国語として一般的。  
   /「古」「文」「字」「学」の4文字は常用漢字であり、日本語話者も意味を連想しやすい。
8. paleontologi / 古生物学 /  
   「古生物学」は古代の生物を研究する学問で、中国語の定訳。  
   /「古」「生」「物」「学」の組み合わせ。すでに出てきた「古」「物」「学」を再利用でき、学習コストを削減。
9. arkeologi / 考古学 /  
   「考古学」は日中いずれも同じ意味の学問名として定着している。  
   /「考」「古」「学」の3文字構成で比較的わかりやすく、画数も多くない。
10. arĥeologi / 考古学 /  
    語幹が arĥeologi でも本質は考古学のため、同様に「考古学」で対応。  
    /同上(「考」「古」「学」)。すでに出現した文字のため追加学習コストはなし。
11. arkeolog / 考古学家 /  
    「考古学家」は考古学を専門とする学者を指す中国語表現。  
    /「考」「古」「学」「家」で4文字。上記「考古学」と「家」の再利用により、新たな文字は不要。
12. arĥeolog / 考古学家 /  
    語幹が arĥeolog でも上記と同じく「考古学家」で対応可能。  
    /同上。既出文字のみで構成されるため学習コストを抑えられる。
13. psikologi / 心理学 /  
    「心理学」は日中いずれでも同じ学問を指し、最も一般的な呼称。  
    /「心」「理」「学」の3文字はいずれも常用度が高く、画数も比較的少ない。
14. psikolog / 心理学家 /  
    「心理学家」は心理学を専門とする学者を意味し、中国語では広く通用。  
    /「心」「理」「学」「家」を組み合わせた4文字。既存文字の再利用で学習負担は低め。
15. antropolog / 人类学家 /  
    「人类学家」は中国語で「人類学の専門家」を意味する標準的表現。  
    /「人」「类」「学」「家」の4文字構成。いずれも常用度が高く、意味が推測しやすい。
16. antropologi / 人类学 /  
    「人类学」は「人類学」を指す中国語として定訳。  
    /「人」「类」「学」の3文字で構成され、すでに他でも登場している「学」を再利用可。
17. vivisekci / 活体解剖 /  
    「活体解剖」は生体への解剖を指す用語として中国語・日本語双方で見られる。  
    /「活」「体」「解」「剖」の4文字はいずれも比較的よく使われ、解剖学(後述)でも文字を再利用予定。
18. zoologi / 动物学 /  
    「动物学」は動物に関する学問の一般的呼称。  
    /「动」「物」「学」の3文字で、いずれも日中ともに理解しやすい常用語。
19. entomologi / 昆虫学 /  
    「昆虫学」は昆虫を研究する学問として広く定着。  
    /「昆」「虫」「学」はいずれも基本的な文字で画数も多くない。
20. ornitologi / 鸟类学 /  
    「鸟类学」は鳥類の研究を指す中国語。  
    /「鸟」「类」「学」の3文字。すでに「类」「学」は登場済みで、重複利用しやすい。
21. etiologi / 病因学 /  
    「病因学」は病気の原因(病因)を研究する分野。  
    /「病」「因」「学」はいずれも常用漢字で画数も比較的少なく、理解しやすい。
22. patologi / 病理学 /  
    「病理学」は疾病の病理(メカニズム)を研究する学問。  
    /「病」「理」「学」の組み合わせで、他に「心理学」などでも「理」「学」を再利用できる。
23. biologi / 生物学 /  
    「生物学」は生物全般を対象とする学問。  
    /「生」「物」「学」はすでに「古生物学」「动物学」などで一部文字が重複し、学習コストを抑えられる。
24. botanik / 植物学 /  
    「植物学」は植物を研究対象とする学問。  
    /「植」「物」「学」の3文字で、うち「物」「学」は再利用済み。「植」も常用度が高く比較的わかりやすい。
25. anatomi / 解剖学 /  
    「解剖学」は生体の構造を研究する学問。  
    /「解」「剖」「学」は既に「活体解剖」で一部出現。再利用可能なため学習コストが低減。

fizik **/** 物理学 **/  
　・理由: 中国語で「物理学」は「physics」の標準訳。日本語でも「物理学」。  
　・学習コスト: 「物」「理」「学」はいずれも頻出漢字で、他の学問用語などにも転用しやすい。**

1. fiziologi / 生理学 /  
   　・理由: 中国語でも「生理学」は「physiology」の標準訳。日本語も同様。  
   　・学習コスト: 「生」「理」「学」いずれも既出かつ汎用性が高く、他用語への転用も容易。
2. optik / 光学 /  
   　・理由: 「光学」は中国語・日本語ともに“optics”の一般的な名称。  
   　・学習コスト: 「光」は画数が少なく、「学」もすでに出てきたため学習負担が低い。
3. estetik / 美学 /  
   　・理由: 中国語・日本語ともに美学は “aesthetics” に対応する最も標準的な語。  
   　・学習コスト: 「美」「学」はどちらも汎用性が高く、他の単語にも転用しやすい。
4. balistik / 弹道学 /  
   　・理由: 中国語の「弹道学」は“ballistics”に対応する一般的用語。日本語「弾道学」に相当。  
   　・学習コスト: 「弹」「道」「学」いずれも常用範囲。「学」は再利用。
5. metrik / 韵律学 /  
   　・理由: エスペラントの対応(J)が「韻律学」(詩や音声における“metrical”・韻律の研究)となっているため。  
   　・学習コスト: 「韵」「律」「学」はどれも標準的な漢字だが、やや画数が多め。しかし学問分野の一種として「学」は再利用可。
6. fonetik / 语音学 /  
   　・理由: 中国語で“phonetics”は「语音学」が最も一般的。日本語の「音声学」に近い概念。  
   　・学習コスト: 「语」「音」「学」はすでに広く使われる常用漢字・常用語。
7. mikrob / 微生物 /  
   　・理由: “microbe”に対応する中国語も「微生物」が標準。  
   　・学習コスト: 「微」「生」「物」は常用かつ他語根でも再利用可能(「物」はすでに登場済み)。
8. mikrometr / 千分尺 /  
   　・理由: 中国語で“micrometer(測定器)”は「千分尺」が広く通用。簡潔かつ実用的表記。  
   　・学習コスト: 「千」「分」「尺」はいずれも画数が比較的少なく、日常でもよく見かける。
9. mikroskop / 显微镜 /  
   　・理由: “microscope”の標準的中国語訳は「显微镜」。  
   　・学習コスト: 「显」「微」「镜」は単語として非常に一般的(科学用語で頻出)。「微」は再利用。
10. miĥael / 迈克尔 /  
    　・理由: 英語名“Michael”の中国語表記で最も一般的なのは「迈克尔」。  
    　・学習コスト: 外来人名表記として常用される。日本人にもカタカナの「マイケル」に相当すると伝わりやすい。
11. mirabel / 米拉贝尔 /  
    　・理由: 「ミラベル(果物)」を中国語で音訳する場合、「米拉贝尔」が自然。  
    　・学習コスト: 外来語表記だが「米」「拉」「贝」「尔」は人名や外来語表現でよく使われる。
12. spirit/ism## / 通灵术 /  
    　・理由: 「交霊術」に近いニュアンスとして、中国語では「通灵术」(霊を呼び出す術)が自然。  
    　・学習コスト: 「通」「灵」「术」はファンタジーやオカルト系用語でも見かけるため、再利用可能性もある。
13. spirit/ist## / 通灵师 /  
    　・理由: 「交霊術師」に相当し、中国語では「通灵师」(霊と交信できる人)が分かりやすい。  
    　・学習コスト: 「通」「灵」は上記(13)と共通。「师」は職能(教師、医师など)に広く使う。
14. muz / 缪斯 /  
    　・理由: “muse”(ギリシア神話の詩神)は中国語で慣用的に「缪斯」(簡体字)と音訳される。  
    　・学習コスト: 外来語表記ゆえ特殊だが、中国語では有名ブランド名などにも使われ比較的認知度がある。
15. fetiĉ / 物神 /  
    　・理由: 「[宗]物神」(フェティッシュ)に相当し、中国語でも「物神」は古典的な意味で通じる(近代的には「恋物癖」もある)。  
    　・学習コスト: 「物」は既出、「神」は常用で分かりやすい。
16. spiritualism / 唯心论 /  
    　・理由: 哲学用語としての“spiritualism(唯心論)”は中国語で「唯心论」が定着している。  
    　・学習コスト: 「唯」「心」「论」はいずれも哲学・思想関連で頻出。
17. spiritualist / 唯心论者 /  
    　・理由: 「唯心論者」は「spiritualist(唯心論を唱える人)」に対応。  
    　・学習コスト: 「唯」「心」「论」は再利用。「者」は「工作者」「读者」などで頻出のため汎用性が高い。
18. medium / 灵媒 /  
    　・理由: 交霊などの文脈での“medium”は中国語で「灵媒」。  
    　・学習コスト: 「灵」は上記(13)(14)と同じで、「媒」は「媒体」などにも使われる。
19. teism / 有神论 /  
    　・理由: “theism(有神論)”の中国語標準訳。  
    　・学習コスト: 「有」「神」「论」はいずれも基本的な語彙(「神」「论」は再利用)。
20. teologi / 神学 /  
    　・理由: “theology(神学)”は中国語でも「神学」が直訳的かつ一般的。  
    　・学習コスト: 「神」「学」は再利用で学習負担が少ない。
21. indiga / 靛青 /  
    　・理由: 化学分野の「インジゴ」(藍染料)に対応する中国語は「靛青」がもっとも一般的。  
    　・学習コスト: 「靛」はやや珍しいが、「青」は再利用の機会も多い色名(青色)漢字。
22. indigo / 靛青 /  
    　・理由: 上項(22)と同じく「インジゴ」を表す。「indiga」も実質同意。  
    　・学習コスト: 同一語義で同じ表記を使うことで混乱を防ぎ、学習負担も増やさない。
23. anagram / 字谜 /  
    　・理由: “anagram”を一種の「文字パズル」として捉えるなら、中国語の「字谜(文字のなぞ)」が近い。  
    　・学習コスト: 「字」「谜」は比較的よく使われる(「谜语」など)。
24. monogram / 字母组合 /  
    　・理由: “monogram”は一般に英字などを組み合わせた「モノグラム」なので、中国語では「字母组合」。  
    　・学習コスト: 「字」「母」「组」「合」は日常語彙でも使われるため比較的汎用度が高い。

### ****1) apopleksi****

apopleksi / 中风 /  
理由: 現代中国語で「脳卒中」を表す一般的な表現。日本語話者にはやや馴染みが薄い可能性があるが、画数が比較的少ない「中(4画)+风(4画)」で構成されており、かつ中国語圏では確実に通じる。  
学習コスト: 「中」「风」はともに高頻度漢字であり、今後も転用しやすい。

### 2) paroksism

paroksism / 发作 /  
理由: 「(病気の)発作」「急に起こる発症」を表す簡明な2文字熟語。中国語としても定着しており、日本語話者にも意味は比較的推測しやすい。  
学習コスト: 「发(5画)」「作(7画)」ともに高頻度漢字。

### 3) anapest

anapest / 短短长 /  
理由: 詩の韻脚「短短長格」をそのまま漢字化(「短」「短」「长」)。厳密な中国語の定訳は存在しないが、拍の長短を直感的に表すための方策。  
学習コスト: やや専門的かつ画数も多め(「短」は12画)だが、より簡潔な既成訳が乏しいため暫定的に提案。

### 4) antitez

antitez / 对立 /  
理由: 「対立」「反対」という意味。簡体字「对(4画)+立(5画)」の2文字で表せるためコンパクト。  
学習コスト: 「对」「立」ともに頻出漢字。

### 5) mani

mani / 狂 /  
理由: 原義は「マニア」「～狂」。中国語では「狂热(熱狂)」「癲狂(狂気)」などの形が一般的だが、1文字で「狂」を当てれば「熱狂・マニア」のニュアンスを要領よく示せる。  
学習コスト: 「狂(7画)」は比較的使用頻度も高め。

### 6) superstiĉ

superstiĉ / 迷信 /  
理由: 「迷信」は日中どちらの言語にも同形の語があるため直感的に意味が伝わる。  
学習コスト: 「迷(7画)」「信(9画)」はいずれも比較的常用。

### 7) fanatik

fanatik / 狂热 /  
理由: 中国語で「fanatical, 狂信的」を表す常用表現が「狂热」。日本語話者にも「狂」「热」の組合せで「狂熱」として想像がつきやすい。  
学習コスト: 「狂」は既出(5番: mani)と同じ、「热(10画)」は初出だが高頻度。

### 8) bigot

bigot / 狂信 /  
理由: 「bigot(狂信者)」。中国語としては「狂信者」まで入れると3文字になるが、今回は2文字「狂信」で提案。文脈次第で「狂信者」に拡張してもよい。  
学習コスト: 「狂」は既出、「信」も既出(6番: superstiĉ)。

### 9) lunatik

lunatik / 疯子 /  
理由: 「lunatic」は中国語で「疯子(気が狂った人)」「疯人」などが使われる。簡明さを優先し「疯子」案を提示。  
学習コスト: 「疯(9画)」「子(3画)」。うち「子」は今後ほかの熟語に使い回しも可能。

### 10) somnambul

somnambul / 梦游 /  
理由: 「夢遊病」＝「梦游症」。名詞(夢遊病者)なら「梦游者」だが、2文字で端的に「梦游(＝睡眠中に歩き回る)」を提案。  
学習コスト: 「梦(11画)」「游(12画)」はやや画数多いが、ほかに適切な1文字表現がないため熟語で対応。

### 11) idiot

idiot / 白痴 /  
理由: 医学的・公的には言い回しが変わりつつあるが、伝統的に中国語でも「白痴」が「idiot」を直截に指す語として定着。日本語でも同じ字。  
学習コスト: 「白(5画)」「痴(9画)」。

### 12) paraliz

paraliz / 麻痹 /  
理由: 「麻痹」は「麻痺(まひ)」とも同形で、日本語話者にも比較的意味を推測しやすい。中国語では「麻痹感(しびれ)」「麻痹症」等。  
学習コスト: 「麻(11画)」「痹(10画)」やや多いが医療用語の定番。

### 13) spasm

spasm / 痉挛 /  
理由: 中国語で「痉挛(けいれん)」が標準的。日本語「痙攣」と字体が近く(簡体字と異体字の関係)、医療文脈で意味が分かる。  
学習コスト: いずれも医療分野の常用漢字であり、他の疾患名とも関連しやすい。

### 14) hipnot

hipnot / 催眠 /  
理由: 「催眠術」「催眠状態」の「催眠」が中国語・日本語ともに通用。  
学習コスト: 「催(9画)」「眠(10画)」。

### 15) apoteoz

apoteoz / 神化 /  
理由: 「神格化」でもよいが画数削減のため「神化」。神としてあがめる・神話化する概念が中国語でも通じる。  
学習コスト: 「神(9画)」「化(4画)」。

### 16) sven

sven / 晕倒 /  
理由: 「失神して倒れる」の意を表す日常的表現。「晕倒」(ふらっと倒れる)は通俗的かつ分かりやすい。  
学習コスト: 「晕(7画)」「倒(10画)」。後述のsyncope(17)と合わせて再利用可能。

### 17) sinkop

sinkop / 晕厥 /  
理由: 医学的には「晕厥」が「失神」を指す正式表現。16番の「晕倒」(より口語)と区別しつつ、共通の「晕」を再利用。  
学習コスト: 「晕(7画)」既出、「厥(11画)」は初出。医療文脈での定番用語。

### 18) vort

vort / 词 /  
理由: 「词(単語・言葉)」。中国語の常用単語であり、日本語話者にも「詞」の字面は比較的分かりやすい。  
学習コスト: 「词(7画)」は後の「动词」でも再利用。

### 19) verb

verb / 动词 /  
理由: 「动(動) + 词(詞)」で「動詞」。  
学習コスト: 「动(6画)」「词(7画)」。うち「词」は18番で既出。

### 20) fraz

fraz / 句 /  
理由: 「句(文・句)」。簡体字で5画。日本語の「句(く)」と同字なので、直感的に意味が伝わりやすい。  
学習コスト: 「句(5画)」は高頻度漢字。

### 21) propozici

propozici / 命题 /  
理由: 「命题(論理や文法上の命題)」。中国語でも数学や論理学の「命题」は定番用語。  
学習コスト: 「命(8画)」「题(9画)」。比較的使用頻度の高い組み合わせ。

### 22) vokativ

vokativ / 呼格 /  
理由: 文法用語「vocative(呼格)」。中国語の文法書等では「呼格」と表記することが多い。  
学習コスト: 「呼(8画)」「格(10画)」。格変化関連で今後「夺格」「宾格」等と併せて使う。

### 23) ablativ

ablativ / 夺格 /  
理由: 「ablative case(奪格)」。中国語では「夺格」と直訳することがある。  
学習コスト: 「夺(6画)」「格(10画)」。「格」は既出(22番)。

### 24) akuzativ

akuzativ / 宾格 /  
理由: 「accusative(対格・目的格)」を中国語では「宾格」。  
学習コスト: 「宾(10画)」「格(10画)」。「格」は既出。

### 25) idiotism

idiotism / 习语 /  
理由: 「idiotism」は「慣用的表現」「イディオム」を指すことが多い。中国語の「习语(慣用句)」は簡潔で、成語ほど限定的でもない汎用的な言い方。  
学習コスト: 「习(3画)」「语(9画)」。いずれも常用・比較的画数少なめ。

proverb / 谚语 /

* + 選定理由: 中国語の「諺」（简体字「谚」）と「語」（语）を合わせた熟語で、「ことわざ」を指す標準的表現。「谚」単独ではややマイナーなので、二文字熟語「谚语」が通じやすい。
  + 学習コスト: 新出の「谚」はやや画数が多めだが（11画程度）、日本語「諺」との対応関係で覚えやすい。「语」は頻出字で他の語彙にも応用できる。

1. sentenc / 格言 /
   * 選定理由: 「格言」は「maxim, wise saying」の意味。日本語でも「格言」という熟語が馴染み深い。中国語でも同様に「格言」は「名言・処世訓」のように使われる。
   * 学習コスト: 「格」は10画、「言」は7画。どちらも比較的よく使われる字であり、他の言語関連の語根にも「言」を応用可能。
2. parafraz / 释义 /
   * 選定理由: 「释义」は「解釈・言い換え・意訳・釈義」といったニュアンスを含むため、パラフレーズの意味に近い。
   * 学習コスト: 「释」は12画と少し多めだが、「义」は3画と少ない。後々「解释(解釈)」「定义(定義)」などに転用される可能性があり、学習効率を確保しやすい。
3. trop / 比喻 /
   * 選定理由: 「trope」は修辞上の比喩表現全般を指すことが多く、中国語では「比喻」(比喩)がもっとも近い表現。
   * 学習コスト: 「比」(4画)と「喻」(11画)の組み合わせ。やや画数は合計で多めだが、「比」は頻出字なので使い回しが利く。
4. metafor / 隐喻 /
   * 選定理由: 「メタファー」は「隠喩」とほぼ同義。中国語でも一般に「隐喻」と言えばメタファーを指す。
   * 学習コスト: 「隐」(9画)「喻」(11画)。どちらもやや画数はあるが、「喻」は上記の「比喻」と同じ字で再利用できる。
5. indikativ / 陈述 /
   * 選定理由: 文法用語の「直説法」「indicative mood」は中国語では「陈述式」「陈述语气」などが一般的。ここでは2文字にまとめ「陈述」とした。
   * 学習コスト: 「陈」(7画)「述」(8画)は比較的よく使われる字であり、他の文法関連語にも応用しやすい。
6. demonstrativ / 指示 /
   * 選定理由: 文法用語の「demonstrative」は中国語では「指示词」「指示代词」など。2文字で汎用的に「指示」として示した。
   * 学習コスト: 「指」(9画)「示」(5画)。両字とも比較的基本的な漢字であり、再利用もしやすい。
7. vokal / 元音 /
   * 選定理由: 中国語で「母音」は標準的に「元音」。
   * 学習コスト: 「元」(4画)「音」(9画)はいずれも基本的な字。単語としても非常に一般的。
8. konsonant / 辅音 /
   * 選定理由: 中国語で「子音」は「辅音」が最も一般的。
   * 学習コスト: 「辅」(7画)「音」(9画)。先に出た「音」を再利用できる。
9. asonanc / 谐音 /

* 選定理由: 厳密には「assonance = 母音の繰り返し」だが、中国語では簡易に「谐音」（発音が似通う語句）としてまとめる場合が多い。完全一致でなく「類音」のイメージに近いが、短い2字熟語を優先。
* 学習コスト: 「谐」(10画)「音」(9画)。すでに「音」は再利用可能。やや厳密性は下がるが簡易表現を優先。

1. rim / 韵 /

* 選定理由: 「韻」「韵脚」は中国語で「韵」と表すのが一般的。詩歌などの押韻に相当。
* 学習コスト: 「韵」(7画)のみ1文字で済むのでコンパクト。詩関係の用語で応用可能。

1. silab / 音节 /

* 選定理由: 「音節」は中国語で「音节」が標準的。
* 学習コスト: 「音」(9画)と「节」(5画)。どちらも常用字。すでに「音」は再利用可能。

1. bombast / 浮夸 /

* 選定理由: 「bombastic」は「浮夸」が2文字表現としてシンプル（「夸夸其谈」は4字熟語でやや長い）。
* 学習コスト: 「浮」(9画)と「夸」(5画)。うち「夸」は比較的基本的(「夸张」など)で再利用が見込める。

1. satir / 讽刺 /

* 選定理由: 「諷刺(詩や文章)」は中国語で「讽刺」が最も直接的。
* 学習コスト: 「讽」(6画)「刺」(8画)。どちらも常用かつ再利用可能。

1. paskvil / 讽刺文 /

* 選定理由: 「paskvil」はいわゆる「風刺文」「中傷文」「風刺パンフレット」の意。中国語で簡潔に示すなら「讽刺文」が分かりやすい。
* 学習コスト: 「讽」は上記(14)と同じ、「刺」(8画)も同じ、「文」(4画)は初出だがきわめて基本的。

1. fiktiv / 虚构 /

* 選定理由: 「虚构」は「フィクション／虚構」という意味で広く使われる。
* 学習コスト: 「虚」(11画)「构」(8画)。いずれも中国語では比較的よく見る字。

1. apokrif / 伪作 /

* 選定理由: 「アポクリファ」は聖書外典を指すこともあるが、一般に「偽作」「作者不詳で正典外の文書」の意味。ここでは「伪作」として汎用的に表現。
* 学習コスト: 「伪」(8画)「作」(7画)。ともに日中で意味を連想しやすい。

1. sofism / 诡辩 /

* 選定理由: 「詭弁」は中国語で「诡辩」が一般的。
* 学習コスト: 「诡」(8画)「辩」(5画)。議論・論理関連の単語で再使用の可能性あり。

1. skeptik / 怀疑 /

* 選定理由: 「懐疑的な」「懐疑論者」に対応する基幹語として「怀疑」を選定。
* 学習コスト: 「怀」(7画)「疑」(14画)でやや多めだが、いずれも常用の組み合わせ。

1. spekulativ / 思辨 /

* 選定理由: 哲学的な「思弁的・思辨的」を表す場合、中国語では「思辨」が比較的近い（「投机」は経済的な投機の意味が強く誤解されやすい）。
* 学習コスト: 「思」(9画)「辨」(14画) でやや画数はあるが、哲学用語らしさを重視。

1. metempsikoz / 轮回 /

* 選定理由: 宗教用語として「輪廻・転生」を示すとき、中国語では「轮回」が一般的。
* 学習コスト: 「轮」(8画)「回」(6画)。よく使われる字なので認知もしやすい。

1. transitiv / 及物 /

* 選定理由: 文法用語「他動(及物)」に相当。中国語でも「及物动词」と言うが、2文字に絞って「及物」。
* 学習コスト: 「及」(3画)「物」(8画) ともに基本的な字。

1. transept / 翼廊 /

* 選定理由: 教会建築などでいう「トランセプト」は中国語では「十字翼廊」や「翼廊」と表記されることが多い。ここでは簡潔に「翼廊」。
* 学習コスト: 「翼」(17画)はやや多いが、建築・空間関連の用語で「廊」(9画)はほかにも転用可能。

1. marĝen / 页边 /

* 選定理由: 印刷物などの「余白」を単に「边缘」としてしまうと「縁・端」の意味合いが強い。ページ周辺(= margin)というニュアンスでは「页边」が分かりやすい。
* 学習コスト: 「页」(6画)「边」(5画) と画数も比較的少なく、文書・印刷用語として扱いやすい。

1. elips / 省略 /

* 選定理由: ここでの「ellipse」は幾何学的な「椭圆」ではなく、文章上の「省略(ellipsis)」を意味するので「省略」とした。
* 学習コスト: 「省」(9画)「略」(11画)。文章表現などでも頻出する組み合わせ。

1. elizi / 省 / 母音を省く「省略」の意味に近く、日中ともに「省(ショウ)」は「省く・省略する」イメージがあるため / 画数9だが比較的ポピュラー。他の「省略」「削除」などにも転用しやすい
2. deklinaci / 变格 / 文法(語形)変化としての「格変化」を端的に表す。「变」(変)と「格」はともに汎用度が高い / 「变」は今後も「変化」を表す語根に使いやすく、「格」も文法上「主格・対格」などで再利用できる
3. fleksi / 变形 / 語尾変化＝「形が変わる」ことを端的に示す。中国語では「词形变化」とも言うが簡略化して「变形」 / 「变」は既出、ここで「形」を追加。形態・形状など他の「形」関連語にも応用可能
4. pleonasm / 冗余 / 余分な言葉＝「冗長・冗余」から。中国語の「冗余」(冗長・重複)は「pleonasm=冗言法」に近い / 「冗」と「余」は比較的画数が少なく、他の語でも再利用可能(「余」は「多余」「剩余」など)
5. paradigm / 范式 / 中国語で「パラダイム」は「范式」と言うのが一般的。日本語でも「範式」と表記 / 「范」は「範囲」「模範」などで使い回し可能、「式」は「公式」「格式」などにも応用可能
6. anomali / 异常 / 「変則」「異常」という意味が近い。中国語の「异常」は「普通の規則から外れる」ニュアンス / 「异」は今後「異端」「異文」などにも転用可能、「常」も「非常」「平常」などで使用頻度が高い
7. variant / 异文 / (芸術・文献学的な)「異文」に対応。日中ともに「異なる文」という直感的な造語で比較的わかりやすい / 「异」は既出、「文」はきわめて基礎的な文字なので学習コストは低い
8. ofer / 奉 / 神に捧げるイメージが強い。中国語の「奉献」「奉る」などで「恭しく捧げる」意味がある / 画数8と比較的少なく、以後「奉献」「奉送」などに展開可
9. dediĉ / 献 / 「献身」「献納」「献花」など、「捧げる」「捧げて捧呈する」のニュアンスが強い / 「奉」と似た意味だが、中国語で「贡献」や「献身」にも使うため今後も再利用しやすい
10. kontribu / 贡献 / 「貢献」「寄与する」の意で、中国語でも「贡献」は馴染み深い単語 / 「贡」と「献」の組み合わせであり、どちらも他の語根(tribut, dediĉ など)に転用可能
11. tribut / 贡 / 「貢ぎ物」「朝貢」などで使われるシンプルな一文字。意味も直感的に一致 / 画数7と少なく、既に「贡献」でも使用しており重複利用できる
12. sin/don## / 献身 / 「献身的な」「自己を捧げる」というニュアンス。日常でも使われる熟語 / すでに「献」を導入済みで、「身」は基礎漢字なので学習コストは比較的低い
13. abnegaci / 舍己 / 自己犠牲＝「自分を捨てる」の古典的表現「舍己(しょき)」。中国語の成語「舍己为人」など / 「舍」は8画、「己」は3画で比較的シンプル。自他を区別する「己」は再利用の可能性がある
14. bastard / 私生子 / 現代中国語で「非嫡出の子(庶子・私生児)」に該当する表現。口語でもよく通じる / 「私(7画)」「生(5画)」「子(3画)」と3文字だが、どれも基礎的で転用可能
15. orf / 孤儿 / 「孤児」の意で中国語の標準表記。「孤児院」「孤儿」などで用いる / 「孤」は8画、「儿」は2画。既存の「子」と似た要素を含み、学習コストは高くない
16. vidv / 鳏夫 / 男やもめ(未亡人の男性版)は中国語では「鳏夫」が正式 / 「鳏」はやや画数多めだが、対応する語として標準的。夫(4画)は基礎的で扱いやすい
17. sklav / 奴隶 / 奴隷。中国語の常用表記。「奴」は5画、「隶」は8画 / 社会・歴史など関連語彙にも転用しやすい
18. ermit / 隐士 / 隠者、世を離れた人。中国語の定訳 / 「隐」(7画)は「隐藏」「隐居」などに使い回し可。「士」(3画)も基本字で低コスト
19. fakir / 苦行僧 / 行者＝「苦行を行う僧侶」のイメージが近いため中国語でも通じやすい / 画数は多めだが、宗教関連で「苦行(8+6画)」「僧(8画)」は汎用度が高い(僧侶、修行僧など)
20. viktim / 祭品 / [宗]いけにえ(供物)の意味合いに近い。「牺牲」に近いが「宗教的捧げ物」なら「祭品」が適切 / 「祭」(5画)と「品」(9画)は常用度が高く、再利用しやすい
21. martir / 烈士 / 殉教者・殉難者を広く指す中国語の代表的表現。宗教的文脈でも「martyr」に近い / 「烈」(10画)は「激烈」「烈火」など、多分野でも使われる。士(3画)は既出
22. laik / 俗人 / [宗]専門の僧侶などではなく、世俗の人＝「俗人」 / 「俗」(9画)は俗語、俗世などに展開可。「人」(2画)は最基礎文字
23. herez / 异端 / 「異端」の意味そのまま。中国語でも「异端」は宗教的な「heresy」を示す / 「异」は既出、「端」(14画)はやや多いが「端正」「极端」など使用範囲が広い
24. profan / 亵渎 / 冒涜・汚辱の意で中国語の定訳。「亵渎神明」などと言う / 画数はやや多い(亵10+渎11)が、「冒涜」の意味で広く通用
25. mim / 哑剧 / 物まね師・パントマイム＝中国語で「哑剧(無言劇)」が最も近い / 「哑」(9画)「剧」(8画)はいずれも常用字。「无声剧」とも言うが、「哑剧」が簡潔